

1. 基本情報						
事務事業番号	02139	事務事業名	地域資源プロデュース事業	担当部	商工観光部	
政策名	001	にぎわい(産業の活力があふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)		担当課	観光PR課	
施策名	001	地域経済を支える商工業の振興		グループ	PR推進グループ	
基本事業名	003	霧島ブランドの確立と販路の拡大		内線番号	2673	
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	02	総務費		単年度繰返(開始年度 平成30年度 ~)	
	項	01	総務管理費		期間限定複数年度(~)	
目	目	10	霧島ふるさと元気再生事業費	根拠法令・条等	霧島市地域おこし協力隊設置要綱	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	地域再生計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 本事業は、これまで販路に恵まれなかった商品や眠ったままの商材を含めた霧島の地域資源の発掘、デザイン、マッチング、販売、発信を、専門的な知識や経験を有した「地域おこし協力隊」を活用することにより行うもので、本市の地方創生を加速させ、霧島の「モノ創り」を元気にするものである。
 総務省が進める「地域おこし協力隊」は、都市部の若者等が過疎地域等に移住して、概ね1年以上3年以下の期間、地場産品の開発、農林水産業への従事等の地域協力活動を行いながら、地域に定住・定着を図る取組であり、本事業の推進に必要な役割を果たす人材として、協力隊が有している専門的能力を活用することは非常に有効な手段である。協力隊は、任期終了後における本市定住のための将来ビジョンを持ちながら活動を行い、地域課題の解決、未来志向のプロジェクト等に挑戦し、外からのあらゆる視点で本市の各種取組を活性化させるものである。

活動指標(事務事業の活動量)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(見込)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)
ア 霧島ガストロノミーブランド応募数	件	41	30	11	10
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(見込)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)
ア 市民	霧島市の人口	人	124,785	126,230	124,367	126,490
イ						
ウ						

意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(目標)	令和2年度(目標)	令和3年度(目標)
ア 霧島ガストロノミーブランド認定を取得	認定された商品、活動の数	件	38	63	48	58
イ						
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)
 本市産品や技術を生かした商品開発を支援するため、商工会議所や商工会、特産品協会、JAあいら、第一工業大学等との産官学連携による「ガストロノミー推進協議会」の活動や農商工連携を推進するとともに、情報の共有や人材の育成、ブランド制度の設計やビジネスマッチング等に取り組むことにより、「霧島ブランド」の確立を目指します。
 また、国内外での商談会等への参加を積極的に推進するとともに、霧島ブランドの効果的なプロモーションやセールスの展開を図るため、官民一体となった販路開拓・販売促進のための支援制度の強化に努めます。

3. 前年度の評価表に記載した課題

平成31年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)
 本市が採用を見込む専門性を持った協力隊員の確保と同隊員を活用した本市の食ブランドを向上させる事業を実施していく。特に着任もない時期は、本市のヒト、モノ、コトの資源を把握することから行い、3年後を見据えた計画などを基にしながら、地域資源を活かした業務を進めていく。
 また、活動先である霧島商社と密に連携し、協力隊員の生活面のケア、力を発揮できる職場環境づくりに取り組むことが必要である。

4. 事業費の推移

事業費	単位	30年度	31年度		2年度	3年度
		決算	当初予算	決算	当初予算	計画
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
県支出金	千円	0	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	511	8,325	3,766	9,290	9,290
事業費	千円	511	8,325	3,766	9,290	9,290

5. 平成31年度の実績及び成果

<p>(1) 平成31年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> 「地域おこし協力隊募集事業」により1名の隊員を採用し、本市の農林水産物などの地域資源の掘り起こしやブランド化、販路拡大等を促進するため、本市内の産学官連携で組織する「霧島ガストロノミー推進協議会」の事業実施にあたり、各種支援業務に取り組んだ。</p>	<p>(2) 平成31年度の実績(取組)による成果を記載> 「霧島ガストロノミー推進協議会」の事業実施において、各種PR媒体のデザイン、制作等に従事し、市内外に向けて効果的に情報発信を行うことができ、本協議会の事業推進を図ることができた。 また、庁内各課関係事業に係る各種媒体等のデザイン業務もを行い、本市の情報発信業務を支援することができた。 【活動実績】 霧島ガストロノミー推進協議会関係：6件 庁内各課関係：14件 地域関係：3件</p>
--	---

事務事業 番号	02139	事務 事業名	地域資源プロデュース事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光PR課

6. 振り返り <SEE (check) >

A 目的 妥当性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	

総合評価判定基準	総合評価	理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討	A	本市の産品・サービスを提供する生産者・事業者によっては、高齢化や採算性による後継者、担い手不足の課題が生じており、生産者・事業者が代わってマーケティング、情報発信等を行う専門的な知識を有した人材に対するニーズが年々高まっている状況であることから、地域から求められている専門的な知識、経験を有した「地域おこし協力隊」を活用する本事業を継続して実施することにより、本市の地域資源の発掘、情報発信等を積極的にに行い、地域ブランド力を高めると

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)

		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充			
		維持			レ
		縮小			
		休廃止（統合含む）			
			皆減	縮小	維持
			コスト投入（予算）の方向性		
(2) 令和2年度の改革改善の内容（取り組むべき課題）	専門的知識及び経験を活かした「地域おこし協力隊員ならではの取組」を行うことにより、地域資源を活用した事業を効果的に展開するとともに、隊員自身の地域への露出を高め、任期終了後の定住・創業等を意識した業務を進めていく。				
(3) 令和3年度の方向性（具体的な取組）	引き続き、地域おこし協力隊員の専門的知識及び経験を活かした取組を行い、地域資源を活用した事業を効果的に展開する。また、任期最終年度を迎える隊員の定住、創業等に向けての準備を進めていく必要がある。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)

						評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充					
		維持					
		縮小					
		休廃止（統合含む）					
			皆減	縮小	維持		拡大
			コスト投入（予算）の方向性				
(2) 総評							

1. 基本情報						
事務事業番号	02141	事務事業名	特産品協会運営支援事業	担当部	商工観光部	
政策名	001	にぎわい(産業の活力があふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)			担当課	観光PR課
施策名	001	地域経済を支える商工業の振興			グループ	PR推進グループ
基本事業名	003	霧島ブランドの確立と販路の拡大			内線番号	2672
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	07	商工費		単年度繰返(開始年度 ~)	
	項	01	商工費		期間限定複数年度(~)	
	目	04	観光費		根拠法令・条例等	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

【市の活動】
 特産品協会に補助金を支出するための手続き(申請書等の受付から補助金の交付など)を行い、特産品の開発、宣伝の推進を図る。
 【特産品協会の活動】
 地域の特産品の開発及び販売経路の拡充。市内事業者83団体が加入。
 地場産業の一翼を担うため、会員間の相互理解と連携を強め、「霧島市」にふさわしい特産品のPR、県内外への販路開拓、また、観光と協同した特産品産業の振興を通じて、地域経済の活性化を促進するため、関係各所との連携を図り、各事業に取り組んでいる。
 物産展出店推進(市内外イベント等出展事業)
 広報拡大(PR広報渉外事業、会員拡大の推進)
 霧島市特産品のブランド認定の仕組みづくり(「霧島市ガストロノミー推進協議会」への参画)
 その他(各実行委員会への参加)

活動指標(事務事業の活動量)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(見込)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)
ア 鹿児島県特産品協会主催特産品コンクール入賞数	点	14	17	15	20
イ 霧島ガストロノミーブランド申請数	点	41	30	11	10
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(見込)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)
ア 特産品協会会員	会員数	人	85	85	83	85
イ						
ウ						
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(目標)	令和2年度(目標)	令和3年度(目標)
ア 新たな特産品を開発する	開発された特産品の数	個	52	80	63	80
イ						
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)
 本市産品や技術を生かした商品開発を支援するため、商工会議所や商工会、特産品協会、JAあいら、第一工業大学等との産官学連携による「ガストロノミー推進協議会」の活動や農商工連携を推進するとともに、情報の共有や人材の育成、ブランド制度の設計やビジネスマッチング等に取り組むことにより、「霧島ブランド」の確立を目指します。
 また、国内外での商談会等への参加を積極的に推進するとともに、霧島ブランドの効果的なプロモーションやセールスの展開を図るため、官民一体となった販路開拓・販売促進のための支援制度の強化に努めます。

3. 前年度の評価表に記載した課題

平成31年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)
 (特産品協会の取組) 会員間の相互理解と連携を強化し、特産品のPRと県内外への販路開拓や観光と協同した特産品産業の振興を通じて、地域経済の活性化を図る。特に、情報発信を強化するために、同協会独自のホームページを制作し、会員情報の掲載を行い、各会員が持つ自社サイトへの導線づくりによる会員の収益拡大、認知向上に繋げる。

4. 事業費の推移

事業費	単位	30年度決算	31年度		2年度当初予算	3年度計画
			当初予算	決算		
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
県支出金	千円	0	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	1,169	1,169	1,169	1,169	1,169
事業費	千円	1,169	1,169	1,169	1,169	1,169

5. 平成31年度の実績及び成果

(1) 平成31年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成31年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
市内外イベントへの出展 食を中心とした事業を産官学連携して取り組む「霧島ガストロノミー推進協議会」への参画 霧島ふるさと祭の開催 市内イベント等実行委員会への参加	市内外イベントへの出展(霧島市水産まつり・鹿児島マルシェ【イオン鹿児島店】) 霧島ガストロノミー推進協議会事務局 会議等：総会1回、委員会1回 霧島ふるさと祭実行委員会事務局(令和元年11月3、4日開催) 会議等：実行委員会2回、出展者説明会1回

事務事業 番号	02141	事務 事業名	特産品協会運営支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光PR課

6. 振返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		総合評価
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A
		理由 本事業を継続して実施することにより、地域の特産品開発、販売経路の拡充及び関係機関との連携強化を図ることで、「霧島ブランド」の確立につながり、同時に地域経済の発展に大きく寄与するものである。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充			
		維持		レ	
		縮小			
	休廃止（統合含む）				
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 令和2年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	本事業を継続することで、会員、関係機関との相互理解と連携を強化し、本市の魅力ある特産品を市内外に向けて官民一体となり、現在の情勢に適した情報発信及びセールスを行っていくことで、会員の収益拡大、特産品の認知度向上等につなげ、「霧島ブランド」の確立を図っていく必要がある。				
(3) 令和3年度の方向性 (具体的な取組)	「霧島ブランド」の確立につながる各種事業を継続して展開するとともに、感染症、災害等があっても持続できる事業の検討、創出を行い、不測の事態に対応できる環境整備を行っていく必要がある。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充	
		維持	
		縮小	
	休廃止（統合含む）		
		皆減	縮小 維持 拡大
		コスト投入（予算）の方向性	
(2) 総評			

1. 基本情報							
事務事業番号	02142	事務事業名	市PRスタッフ運営協議会活動支援事業		担当部	商工観光部	
政策名	001	にぎわい(産業の活力があふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)			担当課	観光PR課	
施策名	004	地域特性を生かした観光の推進			グループ	PR推進グループ	
基本事業名	001	国内外の観光客の誘致			内線番号	2673	
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ		
	款	07	商工費		単年度繰返(開始年度	平成17年度	~)
	項	01	商工費		期間限定複数年度(~)	
	目	04	観光費		根拠法令・条例等	特になし	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市観光基本計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 【本市の活動】霧島市PRスタッフ運営協議会に補助金を交付するための手続きを行う。また、本市が同協議会の事務局を担っている。
 【霧島市PRスタッフ運営協議会の活動】本市をPRし観光客を誘致することを目的に選定する霧島ふるさと大使の選考会の開催や活動を支援する団体である。本市・霧島商工会議所・霧島市商工会・霧島市観光協会で組織される。
 【霧島ふるさと大使募集の概要】霧島ふるさと大使 3名募集
 任務 7月から1年間、本市をPRするための観光宣伝や物産展、本市が主催・後援・協賛する行事等に参加
 応募資格 本市に居住または通勤・通学の18歳以上(高校生を除く)の健康でやる気のある方なら、老若男女・未婚既婚を問わない。
 月平均3、4日程度の業務・出張に従事できる方。 自薦・他薦を問わない。

活動指標(事務事業の活動量)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(見込)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)
ア 出務回数	回	40	30	39	40
イ PRスタッフ選考会応募者数	人	8	10	9	10
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(見込)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)
ア 国民	霧島市の人口	人	124,785	126,230	124,367	124,181
イ						
ウ						

意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(目標)	令和2年度(目標)	令和3年度(目標)
ア 各種イベント・観光宣伝で効率的に観光PRができる。	出務人数(延べ)	人	83	44	61	60
イ						
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)
 日本初の国立公園「霧島」をはじめ、本市特有の歴史や文化、豊富な温泉や食などの多種多様な観光素材、空港や鉄道、高速道路などが整備された、観光地としてのポテンシャルを最大限に生かすため、霧島市観光協会をはじめとする観光関係団体や地域と一体となった誘客活動を更に推進します。
 また、国内外において本市の知名度を向上させるため、「観光地・霧島」のブランドの方向性を明確にするとともに、SNSなど市民による情報発信力の強化など、様々な手法による戦略的な情報発信の取組を推進します。

3. 前年度の評価表に記載した課題

平成31年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)
 近年は大使の応募が少ないことから、募集のあり方について見直す必要がある。外部だけでなく、市民に親しんでいただけるよう市内各種イベント等にも積極的に参加する。また、PRスタッフの特性を生かせるよう、研修等により知識や意識を高める機会を提供する。

4. 事業費の推移		単位	30年度決算	31年度当初予算	31年度決算	2年度当初予算	3年度計画
事業費投入量	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	1,300	1,300	1,300	1,600
	事業費	千円	1,300	1,300	1,300	1,600	

5. 平成31年度の実績及び成果

(1) 平成31年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成31年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
本市の情報発信ツールとして、新たにSNS(Instagram)を開設した。 【県外の観光キャンペーンや市内各種イベント】 39回参加(述べ61名参加) 【フェイスブック】67回投稿 【Instagram】71回投稿 【第12代霧島ふるさと大使選考会】9名参加	年間を通して県内外の各種イベントやメディアに出演し本市のPRや観光宣伝を行うことで、本市の認知度向上に繋がった。 また、SNS等を活用した情報発信を行い、本市の多種多様な魅力を広く周知できた。

事務事業 番号	02142	事務 事業名	市PRスタッフ運営協議会活動支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光PR課

6. 振返り <SEE (check) >			
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？	
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である	
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である	
	結びついていない	見直す必要がある	
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありますか？	廃止・休止の影響はありますか？	
	向上する余地はかなりある	影響がある	
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある	
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない	
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	
	削減できない	削減できない	
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある	
	削減できる	削減できる	
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	公平・公正である		
	見直す必要がある		
総合評価判定基準		総合評価	理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A	大使が県内外において、各種イベントやメディア出演、SNS等でPR活動を行うことは、本市の魅力を広く周知することにつながるため継続した取組が必要である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業(成果)の方向性	拡充			レ
		維持			
		縮小			
	休廃止(統合含む)				
		皆減	縮小	維持	拡大
コスト投入(予算)の方向性					
(2) 令和2年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	選考会への応募者を増やすために大使の活動をより広く周知し、関心を持ってもらう取組を行うとともに、募集方法等について見直す必要がある。大使がより充実した活動が行えるよう、本市に関する知識や大使を務めることの責任等の意識向上を図るため、研修等の機会を提供する必要がある。任期終了後も、大使として得た知識や経験を生かせる仕組みづくりを行い、本市の情報発信の充実や観光人材として活用することが望まれる。				
(3) 令和3年度の方向性(具体的な取組)	大使が各種イベントやメディア出演、SNS等において、本市の魅力を伝える効果的なPRが行えるよう知識や意識を向上する機会を提供し、その成果を生かせるよう市内外での活動での積極的な活用を図る。				

8. 2次評価結果(担当部長評価)		評価者	職・氏名	商工観光部長 谷口 隆幸	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業(成果)の方向性	拡充			レ
		維持			
		縮小			
	休廃止(統合含む)				
		皆減	縮小	維持	拡大
コスト投入(予算)の方向性					
(2) 総評	霧島ふるさと大使の活動状況を広く周知し関心を持ってもらうためにSNS等を活用した情報発信を積極的に実施しているところである。今後は新型コロナウイルス感染拡大の影響により大使の出務機会も少なくなっていることから、効果的なPR方法を検討する必要がある。				

1. 基本情報						
事務事業番号	02143	事務事業名	霧島大使運営事業	担当部	商工観光部	
政策名	005	きょうどう（市民とつくる協働と連携のまちづくり）		担当課	観光PR課	
施策名	004	市の魅力と価値を高める多角的施策の展開		グループ	PR推進グループ	
基本事業名	004	シティプロモーションの推進		内線番号	2673	
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	07	商工費		単年度繰返（開始年度 平成20年度 ~）	
	項	01	商工費		期間限定複数年度（ ~ ）	
	目	04	観光費		根拠法令・条例等 特になし	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市観光基本計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細を記述）
 本事業は平成20年度から開始し、市勢全般について理解を深め、それぞれの立場から市政に対する提言や意見をいただくとともに、本市の観光の魅力や特産品等の紹介、宣伝、本市のイメージアップに繋がる活動及び企業誘致や定住促進等、市勢発展に寄与していただいている。なお、委嘱は各関係課からの推薦に基づき行い、その後の事務的な業務は、推薦があった関係課と観光PR課が連携して行っている。
 【おじゃんせ霧島大使委嘱者13名】辛島美登里・井上一樹・白鵬翔・堤剛・陸奥一博・猫ひろし・生島ヒロシ・西田聖志郎・重田千穂子・下野竜也・二本康太・川上直子・大瀬良大地
 【霧島市ふるさと大使4名】細山田明義（首都圏霧島市ふるさと会最高顧問）、原口悟郎（首都圏霧島市ふるさと会会長）、未満利昭（首都圏霧島市ふるさと会会長代行）、梶島義則（首都圏霧島市ふるさと会幹事長）
 【霧島市PR大使1名】宮村憲一（元トヨタ車体研究所代表取締役社長）
 <観光宣伝>それぞれの活動の場で本市をPRしてもらう。

活動指標（事務事業の活動量）	単位	平成30年度（実績）	平成31年度（見込）	令和2年度（見込）	令和3年度（見込）
ア 委嘱回数	人	1	1	0	1
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象（誰、何を対象にしているのか）	対象指標（左記対象の大きさを表す指標）	単位	平成30年度（実績）	平成31年度（見込）	令和2年度（見込）	令和3年度（見込）
ア 霧島大使	委嘱者数	人	18	19	18	19
イ						
ウ						

意図（対象をどうしたいのか）	成果指標（左記意図の達成度を表す指標）	単位	平成30年度（実績）	平成31年度（目標）	令和2年度（目標）	令和3年度（目標）
ア 霧島市の情報を知ってもらう	広報誌を送った回数	回	206	228	204	228
イ 霧島市のPRをしてもらう	名刺を送った総枚数	枚	1,300	1,900	1,800	2,000
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針（総合計画より）
 まちの持続的な発展や交流・移住人口の増加につなげるため、「褒め合うまち」をコンセプトとするクリスマス活動をもっと推進し、市民のまちへの愛着度を高め、市民と行政がともに本市の魅力づくりを行うとともに、学校や企業・事業所等においてクリスマス活動を活用する場を広げることにより、クリスマス活動の更なる定着化を目指します。
 また、本市の認知度向上を図るため、SNS等を活用した情報発信を市民とともに進めます。

3. 前年度の評価表に記載した課題

平成31年度の改善改革の内容（取り組むべき課題）
 霧島大使については、「おじゃん霧島大使」「霧島市ふるさと大使」「霧島市PR大使」の3つの役職があるが、役割がわかりづらいため、統一・名称変更などによる整理が必要と思われる。また、就任後は任期がなく活動の状況に関わらず継続されるため、名称変更と併せて任期設定などの要領の見直しが必要である。

4. 事業費の推移		単位	30年度 決算	31年度 当初予算	2年度 当初予算	3年度 計画
事業費 投入量	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0
		その他	千円	0	0	0
		一般財源	千円	59	174	42
	事業費	千円	59	174	42	59

5. 平成31年度の実績及び成果

(1) 平成31年度の実績（取組） <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成31年度の成果 <左記の実績（取組）による成果を記載>
本年度は大使の推薦がなく、新たな委嘱はなかった。霧島大使として活動する際に使用する名刺や広報誌等を送付し、活動支援及び情報提供を行った。	18名の霧島大使は、それぞれの分野で本市のPRを行い、知名度向上や観光客増加に寄与していただいた。

事務事業 番号	02143	事務 事業名	霧島大使運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光PR課

6. 振返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		総合評価
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A
		理由 霧島大使が観光情報や生活情報を対外的に発信することは本市の更なる知名度向上に繋がるため、今後も継続して取り組む必要があると考える。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充			レ
		維 持			
		縮 小			
	休止 (統合含む)				
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
コスト投入 (予算) の方向性					
(2) 令和 2年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	「おじゃんせ霧島大使」「霧島市ふるさと大使」「霧島市PR大使」の役割等について、内外部に対し明確な運用基準を示すため、統合や名称変更、任期設定等についての見直しが必要である。				
(3) 令和 3年度の方向性 (具体的な取組)	本市の更なる知名度向上を図るため、大使への情報提供を継続的に行うほか、新たな大使の委嘱が行えるよう庁内及び各種団体等と連携を図りたい。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	職・氏名	商工観光部長	谷口 隆幸
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充			レ
		維 持			
		縮 小			
	休止 (統合含む)				
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
コスト投入 (予算) の方向性					
(2) 総評	現在委嘱されている各大使に名刺や広報誌等を送付し活動支援や情報提供を行っているが、任期の設定がないため、市からの送付等で留まっている。そのため、各大使のPR活動の状況の聞き取りや、大使としての継続の意思確認を行う必要がある。				

1. 基本情報						
事務事業番号	02145	事務事業名	観光バス運行事業	担当部	商工観光部	
担当課				担当課長	寶徳 太	
政策名	001	にぎわい(産業の活力があふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)		グループ	観光PR課	
施策名	004	地域特性を生かした観光の推進		内線番号	2613	
基本事業名	003	利便性の高い観光地づくりの推進				
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	07	商工費		単年度繰返(開始年度 ~)	
	項	01	商工費		期間限定複数年度(~)	
	目	04	観光費		根拠法令・条例等	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>							
(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)							
<p>以下の観光バスを運行し、観光客の二次アクセスの確保を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登山者の交通アクセス充実のため、丸尾を拠点にえびの高原及び高千穂河原を結ぶ「霧島連山周遊バス」を平成17年度より運行している。 ・妙見を經由して隼人駅から鹿児島空港を結ぶ「妙見路線バス」を平成22年度より運行している。 ・土日祝日に主要交通拠点から市内の観光地を滞在しながら運行する「霧島周遊観光バス」の実証運行を平成30年1月から開始しており、乗客アンケート等を基に運行内容の検証・改善を行い、本格運行につなげるべく取り組んでいる。 <p>【委託先】鹿児島交通(株) 【運賃】霧島連山周遊バス：丸尾 えびの高原(420円) 高千穂河原(740円) 丸尾(1,020円) 妙見路線バス：隼人駅 鹿児島神宮(140円) 妙見温泉(340円) 嘉例川駅(520円) 鹿児島空港(650円) 霧島周遊観光バス：1,100円(のっとりおりたりマイプラン)</p>							
活動指標 (事務事業の活動量)							
	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(見込)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)		
ア	霧島連山周遊バスの延べ運行便数	便	1,080	1,464	1,458	1,460	
イ	妙見路線バスの延べ運行便数	便	4,015	4,026	4,026	4,015	
ウ	霧島周遊観光バスの延べ運行便数	便	414	236	236	232	
(2) 事務事業の目的							
対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(見込)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)	
ア	観光客	観光客数	人	7,606,885	7,797,200	7,489,312	7,875,200
イ	観光客	観光客数	人	7,606,885	7,797,200	7,489,312	7,875,200
ウ	観光客	観光客数	人	7,606,885	7,797,200	7,489,312	7,875,200
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(目標)	令和2年度(目標)	令和3年度(目標)	
ア	2次交通アクセスを確保する	霧島連山周遊バスの利用者数	人	3,370	4,300	5,892	4,400
イ	2次交通アクセスを確保する	妙見路線バスの利用者数	人	5,885	7,100	5,696	7,200
ウ	2次交通アクセスを確保する	霧島周遊観光バスの利用者数	人	1,309	1,404	1,187	1,856
(3) 総合計画との関係							
基本事業の目的、取組方針(総合計画より)							
<p>国際線を有する空港所在都市としての強みを生かし、主要な交通結節点である空港や駅からの二次アクセスの強化を図ります。誰もが安心、快適に観光できるような、施設などのユニバーサルデザイン化や多言語表記による案内板の設置、Wi-Fi及び超高速ブロードバンド環境の整備を促進します。</p> <p>さらに、増加傾向にある外国人観光客の受入体制を強化するとともに、本市特有の自然、景観、歴史、文化を生かした観光地づくりを推進します。</p>							

3. 前年度の評価表に記載した課題		4. 事業費の推移					
<p>平成31年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)</p> <p>霧島連山周遊バス、妙見路線バスについては、引き続き周知を行い、観光客の利便性向上を図る。</p> <p>霧島周遊観光バスについては、引き続き実証運行を行い、アンケート結果等を踏まえ、利用者のニーズに合った運行計画や周知を行うことで、本格運行につなげる。</p>		単位	30年度決算	31年度当初予算	2年度当初予算	3年度計画	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	
		県支出金	千円	1,248	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		その他	千円	10,100	9,700	9,752	
		一般財源	千円	21,851	22,953	23,076	
事業費		千円	33,199	32,653	32,828	32,859	

5. 平成31年度の実績及び成果	
(1) 平成31年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成31年度の実績(取組)による成果を記載>
<p>霧島連山周遊バス及び妙見路線バスについては、昨年度と同じダイヤで運行を行った。</p> <p>平成30年1月から開始した霧島周遊観光バスの1年間の実証運行での乗車状況や乗客からの意見等を基に、平成31年1月から運行内容を観光客のニーズに合う充実したものに変更し、実証運行を継続している。</p> <p>また、時刻表等のパンフレットを一新し、バスを使った周遊観光を促進するとともに、外国語版のパンフレットを作成し、近年増加している外国人観光客にも対応した。</p>	<p>霧島連山周遊バスについては、平成30年度の新燃岳の影響による運休の影響があるものの、利用者数は増加している。</p> <p>妙見路線バスについては、利用者数は微減しているものの、ここ数年は一定の利用者数を維持している。</p> <p>霧島周遊観光バスについては、1日当たり利用者数10.0人(1便当たり海コース2.9人、山コース7.1人)の利用があった。</p> <p>また、外国人観光客が利用者の14%を占めており、近年増加している外国人観光客にも対応できている。</p>

事務事業 番号	02145	事務 事業名	観光バス運行事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光PR課

6. 振り返り <SEE (check) >			
A 目的 妥当性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？	
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である	
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である	
	結びついていない	見直す必要がある	
B 有効性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？	
	向上する余地はかなりある	影響がある	
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある	
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない	
C 効率性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	
	削減できない	削減できない	
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある	
	削減できる	削減できる	
D 公平性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	公平・公正である		
	見直す必要がある		
総合評価判定基準		総合評価	理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A	二次アクセスは本市の観光面における課題の一つであり、継続して事業を実施することで観光客の利便性を確保していくことは必要である と考える。ただ、利用者のニーズに合った運行となっているかをアン ケート等で把握し、利用者のさらなる増加のために観光バス運行に関 する周知を行っていくことは必要であるとする。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充			
	維 持			レ	
	縮 小				
	休廃止（統合含む）				
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
コスト投入（予算）の方向性					
(2) 令和 2年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	霧島連山周遊バス、妙見路線バスについては、引き続き周知を行い、観光客の利便性向上を図る。 霧島周遊観光バスについては、引き続き実証運行を行い、アンケート結果等を踏まえ、利用者のニーズに合 った運行計画や周知を行うことで、本格運行につなげる。				
(3) 令和 3年度の方向性 (具体的な取組)	霧島連山周遊バス、妙見路線バスについては、引き続き周知を行い、観光客の利便性向上を図る。 霧島周遊観光バスについては、アンケート結果や利用状況を踏まえ、既存コースの見直し、及び新たなコー ス設定を行い、当該施策の確立を図ることにより、二次アクセスの充実及び観光客の利便性向上につなげる。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充	
	維 持		
	縮 小		
	休廃止（統合含む）		
		皆 減	縮 小 維 持 拡 大
コスト投入（予算）の方向性			
(2) 総評			

1. 基本情報							
事務事業番号	02146	事務事業名	霧島の食ブランド価値向上事業		担当部	商工観光部	
政策名	001	にぎわい(産業の活力があふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)			担当課	観光PR課	
施策名	001	地域経済を支える商工業の振興			グループ	PR推進グループ	
基本事業名	003	霧島ブランドの確立と販路の拡大			内線番号	2673	
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ		
	款	07	商工費		単年度繰返(開始年度	平成29年度	~)
	項	01	商工費		期間限定複数年度()		
	目	04	観光費		根拠法令・条例等		
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		関連計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

【市の活動】
霧島ガストロノミー推進協議会に補助金を支出するための手続き(申請書等の受付から補助金の交付など)を行うとともに、協議会の事務局を担っている。

【事業概要】
健康的食生活と食を通じた喜びを分かち合うための知識、体験、芸術、クラフトを統合したガストロノミーの理念のもと、「霧島には魅力的な食文化がある」という認識を国内外から得るため、産学官各種団体が連携した事業を展開し、農林水産物の付加価値向上に伴う「稼ぐ力」の向上や海外を含めた誘客拡大・満足度向上に繋げ、交流人口拡大や経済活動の活性化を図ることを目的とし、霧島ブランド認定制度の運営や知名度の向上、販路拡大に向けた取組を行っている。

【構成団体】商工会議所、商工会、観光協会、特産品協会、あいら農協、第一工業大学、国分中央高校、霧島高校、霧島市

活動指標(事務事業の活動量)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(見込)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)
ア 霧島ガストロノミーブランド応募数	件	41	30	11	10
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(見込)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)
ア 市民	霧島市の人口	人	124,785	126,230	124,367	126,490
イ						
ウ						

意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(目標)	令和2年度(目標)	令和3年度(目標)
ア 霧島ガストロノミーブランド認定を取得	認定された商品、活動の数	件	38	63	48	58
イ						
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)
本市産品や技術を生かした商品開発を支援するため、商工会議所や商工会、特産品協会、JAあいら、第一工業大学等との産学官連携による「ガストロノミー推進協議会」の活動や農商工連携を推進するとともに、情報の共有や人材の育成、ブランド制度の設計やビジネスマッチング等に取り組むことにより、「霧島ブランド」の確立を目指します。
また、国内外での商談会等への参加を積極的に推進するとともに、霧島ブランドの効果的なプロモーションやセールスの展開を図るため、官民一体となった販路開拓・販売促進のための支援制度の強化に努めます。

3. 前年度の評価表に記載した課題

平成31年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)
これまでの事業をしっかりと継続し更なる成果の拡大を図るため、取組の検証、新たな手法の導入やリソースの再配分を行う。また、日本の食文化に高い関心を持つ国内外地域への情報発信や霧島産品の販路拡大、霧島伝承の食文化、和食を活かした「霧島でしか味わえない食の提供」を戦略的にを行い、霧島ガストロノミーを広く情報発信し定着につなげる。

4. 事業費の推移

事業費	単位	30年度	31年度		2年度	3年度
		決算	当初予算	決算	当初予算	計画
国庫支出金	千円	6,474	6,465	6,465	4,675	0
県支出金	千円	0	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	7,216	7,225	7,225	5,435	10,110
事業費	千円	13,690	13,690	13,690	10,110	10,110

5. 平成31年度の実績及び成果

(1) 平成31年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成31年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<ul style="list-style-type: none"> 霧島ガストロノミーブランド「ゲンセン霧島」の募集・認定 霧島食材を包んだご当地料理「霧島つつみ」の展開 東京農業大学との包括連携協定に基づく連携事業 海外を含む市内外での食材マッチングの実施 主催イベントの開催(霧島ガストロノミーコレクション、ゲンセン霧島食材フェア) 「ゲンセン霧島」認知度向上のための各種PR活動の実施 	<p>霧島ガストロノミー推進協議会の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ブランド認定制度により、新たに11件(うち1件は再認定)の認定品 活動が「ゲンセン霧島」に認定され、パンフレット、ポスター等の制作、イベントの実施など、あらゆる手段により食をテーマにした霧島のブランディングを行った。 気軽に霧島ガストロノミーを体験できるご当地料理として、霧島産品を包んだ包み料理「霧島つつみ」を展開し、PRイベントの実施及び市内24店舗でそれぞれ特色あるメニューが提供された。 東京農業大学との包括連携協定に基づき、認定事業者とともに大学収穫祭に参加し、認定品のPRを行った。 都市部のレストラン関係者を対象とした「ゲンセン霧島ツアー」を実施しブランド認定事業者を訪問の上、食材マッチングを行った。 「ゲンセン霧島」食材を使った食材フェアを東京都内で開催し、都市部にいながら霧島の食材を楽しめる場の創出と地域産品の認知度、ブランド力向上につながった。

事務事業 番号	02146	事務 事業名	霧島の食ブランド価値向上事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光PR課

6. 振り返り <SEE (check) >			
A 目的 妥当性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？	
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である	
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である	
	結びついていない	見直す必要がある	
B 有効性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？	
	向上する余地はかなりある	影響がある	
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある	
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない	
C 効率性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	
	削減できない	削減できない	
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある	
	削減できる	削減できる	
D 公平性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	公平・公正である		
	見直す必要がある		
総合評価判定基準		総合評価	理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A	霧島の「食」を中心とした事業を継続して展開することで、農林水産業の付加価値向上に伴う「稼ぐ力」の向上、新たな観光資源の開発、地域経済の発展等につながるものであり、国等の補助制度を活用していくことで、更なる取組の強化につなげ、本事業の成果向上を図ることができる。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充			
		維持		レ	
		縮小			
	休廃止（統合含む）				
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 令和2年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	これまで取組んできた「ブランド認定制度」や「ご当地料理」などの各種事業を新型コロナウイルス感染症に対応した形で継続実施するとともに、情報発信をはじめとする各種取組みのデジタル化、リモート化を行うなど、未来に向かって中長期的な視点を持ち事業展開を行う。				
(3) 令和3年度の方向性 (具体的な取組)	本協議会の基幹事業としてブランド認定制度を継続するとともに、申請、審査、管理などの運営業務のデジタル化、リモート化を実施し、制度の充実及び効率化を図っていく。また、霧島市内における知名度向上を図るため、動画、SNS等を積極的に活用した情報発信を行う。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充	
		維持	
		縮小	
	休廃止（統合含む）		
		皆減	縮小 維持 拡大
		コスト投入（予算）の方向性	
(2) 総評			

1. 基本情報							
事務事業番号	02147	事務事業名	シティプロモーション推進事業	担当部	商工観光部		
政策名	005	きょうどう（市民とつくる協働と連携のまちづくり）		担当課	観光PR課		
施策名	004	市の魅力と価値を高める多角的施策の展開		グループ	PR推進グループ		
基本事業名	004	シティプロモーションの推進		内線番号	2672		
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ		
	款	07	商工費		単年度繰返（開始年度		平成28年度
	項	01	商工費		期間限定複数年度（		～
	目	04	観光費		～		）
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市観光総合戦略		

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細を記述）
 まちづくりへの参画人口増加や、民間や団体、地域などと連携した魅力づくり・PR活動の展開を図り、官民一体となった魅力度・認知度向上への取組を推進する。
 ・褒め合うまちをテーマにしたプロモーション活動「キシマイスター」をさらに普及させ、キシマイスター（霧島市のファン）を増やし、魅力づくり・魅力発信に参画する人を増やす。
 ・全国版メディアとのネットワークの構築や情報発信スキルの向上等により認知度アップを図る。
 ・市民がまちづくりやPRのノウハウを学ぶ機会をつくり、本市の活性化につなげる。

活動指標（事務事業の活動量）	単位	平成30年度（実績）	平成31年度（見込）	令和2年度（見込）	令和3年度（見込）
ア キリシマイスター啓発活動	回	10	10	8	10
イ メディアキャラバンによる訪問数	件	48	25	17	20
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象（誰、何を対象にしているのか）	対象指標（左記対象の大きさを表す指標）	単位	平成30年度（実績）	平成31年度（見込）	令和2年度（見込）	令和3年度（見込）
ア 市民	霧島市民	人	124,785	126,230	124,367	124,181
イ メディア	掲載数	件	368	200	187	200
ウ						

意図（対象をどうしたいのか）	成果指標（左記意図の達成度を表す指標）	単位	平成30年度（実績）	平成31年度（目標）	令和2年度（目標）	令和3年度（目標）
ア まちの魅力を知ってもらおう	活動に参加した人数	人	12,000	12,000	13,200	12,000
イ まちの魅力を知ってもらおう	広告換算金額	千円	575,000	300,000	282,000	300,000
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針（総合計画より）
 まちの持続的な発展や交流・移住人口の増加につなげるため、「褒め合うまち」をコンセプトとするキシマイスター活動を更に推進し、市民のまちへの愛着度を高め、市民と行政がともに本市の魅力づくりを行うとともに、学校や企業・事業所等においてキシマイスターを活用する場を広げるにより、キシマイスター活動の更なる定着化を目指します。
 また、本市の認知度向上を図るため、SNS等を活用した情報発信を市民とともに進めます。

3. 前年度の評価表に記載した課題

平成31年度の改善改革の内容（取り組むべき課題）
 事業開始後3年を経過し、やや停滞感がみられるため、「褒め合うまち」の原点に立ち戻り、市民への啓発活動を積極的に展開する。またセミナーイベント等についても、一過性のものとする。参画した方が自発的に地域の人材として活躍できる内容として実施する。メディアPRについては、メディアキャラバン取組対応により積極的なアプローチを行い、多くの媒体に露出できる取組を展開する。

4. 事業費の推移		単位	30年度 決算	31年度 当初予算	2年度 当初予算	3年度 計画
事業費 投入量	国庫支出金	千円	14,493	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	10,600	9,911	6,800
	一般財源	千円	14,963	13	12	6,862
	事業費	千円	29,456	10,613	9,923	6,862

5. 平成31年度の実績及び成果

(1) 平成31年度の実績（取組） <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成31年度の成果 <左記の実績（取組）による成果を記載>
・11月7日の「イイなの日」の実施 学校での取組：市内小・中学校全校で実施、協力店舗による取組：40店舗参加、高校生・大学生による取組：イイなの日実行委員13名 イベント参加者約300名 ・キシマイスターモデル校認定：小学校9校、中学校1校 ・市内店舗等での啓発活動：4回（母の日、父の日、敬老の日、合同金婚式） ・キシマイスター出前講座：3回 ・メディアキャラバン：17件 ・取材対応：12件 掲載実績：187件 広告換算値：2億8,200万円 ・SNS（インスタグラム）での「#キシマイスター」の投稿数1,831件、「#キシマイチャンネル」の投稿数1,851件 ・市のPRに関する庁内横断的な取組を行う情報共有会議「シティセールスミーティング」を2回実施。 ・シティセールス：2回（福岡地区・東京地区）	・幅広い市民層を対象とした「イイなの日」の取組により、多くの市民が参画し、キシマイスターへの関心を高めることができた。 ・キシマイスターモデル校を認定し各学校の特長を生かした取組を展開することができた。 ・市内店舗でのイベントや団体との合同企画、出前講座等を実施することにより、キシマイスターへの理解を深めることができた。 ・SNS等の「キシマイスター」に関する投稿数が増加し市民等の関心を高めることができた。 ・メディアキャラバンや取材対応により、メディア等に本市の魅力発信、拡散することができた。また、全国版メディアでの掲載を獲得し本市の認知度向上につながった。 ・PRに関する庁内横断的な取組を行うシティセールスミーティングを実施し、各部署におけるPR素材の情報共有及び一元化を行った。また、都市部でのシティセールスを実施し、市の魅力を幅広く発信することができた。

事務事業 番号	02147	事務 事業名	シティプロモーション推進事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光PR課

6. 振返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありますか？	廃止・休止の影響はありますか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公 平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		総合評価
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A
		理由 本事業については、市民の郷土愛の醸成及び交流人口拡大のための認知度向上を目的としており、市の魅力の発掘、磨き上げ、拡散等を繰り返し、市内外に対し継続した展開を図る必要がある。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充			
	維 持			レ	
	縮 小				
	休廃止（統合含む）				
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
コスト投入（予算）の方向性					
(2) 令和 2年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	<ul style="list-style-type: none"> 郷土愛の醸成については、「キシマイスター」活動を更に活発化するため、イベントや出前講座、イイなの日の実施等により引き続き啓発活動を推進する。また、「キシマイスターモデル校」や「キシマイスターパートナーズ」に参画した各種団体が、自発的に地域の人材として活躍できる機会提供となるよう内容を工夫し実施する。 認知度向上については、本市の魅力を効果的に発信できる媒体等への掲載ができるようメディアキャラバン、取材対応等により積極的な取組を展開する。 				
(3) 令和 3年度の方向性 (具体的な取組)	シティプロモーションについては、市民向けの郷土愛の醸成と認知度向上による交流人口拡大を目指すためのメディアPRの2本柱として引き続き積極的な事業展開を行う。キシマイスター事業については、地域、学校、職場、団体等に積極的に働きかけ、キシマイスター活動の啓発を行い、郷土愛の醸成を深める事業を展開する。また、市制施行日である11月7日を「イイなの日」として継続し、多くの市民が参画するキシマイスターへの関心や理解を深める機会を創出する。メディアPRについては、認知度向上による交流人口拡大を継続して実施するとともに、地域経済活動の活性化に繋がる展開となるよう、行政内、各種団体、事業所等と連携を図る。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充	
	維 持		
	縮 小		
	休廃止（統合含む）		
		皆 減	縮 小 維 持 拡 大
コスト投入（予算）の方向性			
(2) 総評			

1. 基本情報						
事務事業番号	02149	事務事業名	マスコミを利用した広告事業	担当部	商工観光部	
政策名	001	にぎわい(産業の活力があふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)		担当課	観光PR課	
施策名	004	地域特性を生かした観光の推進		グループ	PR推進グループ	
基本事業名	001	国内外の観光客の誘致		内線番号	2672	
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	07	商工費		単年度繰返(開始年度 ~)	
	項	01	商工費		期間限定複数年度(~)	
	目	04	観光費		根拠法令・条例等 特になし	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市観光総合戦略	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>						
(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)						
国内外からの多くの観光客を誘致するため、旅行情報誌・新聞及びホームページへの霧島市の観光情報の掲載など、様々なメディアを利用し、積極的な情報発信を行っている。 平成31年度の掲載媒体 <旅行情報誌等> ジェットスター機内誌(閲読数 890,000人/号) TJカゴシマ8月号(36,200部) 読売新聞九州-秋の九州観光特集広告(740,000部) 月刊カメラマン(12月)(100,000部) 読売新聞元旦(740,000部) TJカゴシマ2月号(36,200部) 読売新聞九州-鹿児島観光特集(カラー+通常広告モノクロ)(740,000部)						
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (見込)	令和2年度 (見込)	令和3年度 (見込)
ア	掲載回数	回	9	9	7	9
イ						
ウ						
(2) 事務事業の目的						
対象 (誰、何を対象にしているのか)		対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (見込)	令和2年度 (見込)
ア	広告を掲載した旅行雑誌、新聞等の読者	掲載媒体販売部数	万部	204	600	239
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)		成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (目標)	令和2年度 (目標)
ア	霧島市の情報を得る。	広告を見た人の数(掲載媒体発行部数)	万部	204.80	600	239
イ						
ウ						
(3) 総合計画との関係						
基本事業の目的、取組方針(総合計画より)						
日本初の国立公園「霧島」をはじめ、本市特有の歴史や文化、豊富な温泉や食などの多種多様な観光素材、空港や鉄道、高速道路などが整備された、観光地としてのポテンシャルを最大限に生かすため、霧島市観光協会をはじめとする観光関係団体や地域と一体となった誘客活動を更に推進します。 また、国内外において本市の知名度を向上させるため、「観光地・霧島」のブランドの方向性を明確にするとともに、SNSなど市民による情報発信力の強化など、様々な手法による戦略的な情報発信の取組を推進します。						

3. 前年度の評価表に記載した課題		4. 事業費の推移					
平成31年度の改善改革の内容(取り組むべき課題) 平成30年放映の大河ドラマ「西郷どん」によって鹿児島への関心が高まり、霧島市の各名所の知名度も上昇している。この気運に乗った情報発信をすることで、継続した誘客に繋げていく。		単位	30年度 決算	31年度 当初予算	2年度 当初予算	3年度 計画	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	
		一般財源	千円	800	800	800	
		事業費	千円	800	800	800	

5. 平成31年度の実績及び成果	
(1) 平成31年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> <旅行情報誌等> ジェットスター機内誌(閲読数 890,000人/号) TJカゴシマ8月号(36,200部) 読売新聞九州-秋の九州観光特集広告(740,000部) 月刊カメラマン(12月)(100,000部) 読売新聞元旦(740,000部) TJカゴシマ2月号(36,200部) 読売新聞九州-鹿児島観光特集(カラー+通常広告モノクロ)(740,000部)	(2) 平成31年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載> 各種新聞や旅行情報誌等に掲載することで、霧島市の認知度向上に貢献した。

事務事業 番号	02149	事務 事業名	マスコミを利用した広告事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光PR課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有 効 性	成果が向上する余地（可能性）はありますか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効 率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公 平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		総合評価
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A
		理由 広告を掲載した旅行雑誌・新聞等の読者は、霧島市の情報を得ることで、霧島市を訪れることにつながるため。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充			レ
		維 持			
		縮 小			
	休廃止（統合含む）				
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
コスト投入（予算）の方向性					
(2) 令和 2年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	当事業においては、限られた予算の中で効果的に展開するため事業の棲み分けを行うこととしたい。県内及び九州域内を中心とした情報発信については当事業を活用し、県外等についてはシティプロモーション事業のメディアPRを活用し本市の魅力情報を発信することで「霧島市の認知度向上」を図るとともに誘客に繋げていく。				
(3) 令和 3年度の方向性 (具体的な取組)	近年はWEB上での情報を見て観光に訪れる方もいるが、現状の広告料では金額が足りないため、広告を打つことができていない。旅行会社や予約サービスサイト内での広告を検討に入れつつ、予算要求を行っていく。年間を通して偏りが生じないように計画的な予算執行を行う。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	職・氏名	商工観光部長 谷口 隆幸	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充			レ
		維 持			
		縮 小			
	休廃止（統合含む）				
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
コスト投入（予算）の方向性					
(2) 総評	旅行情報誌や新聞等の掲載により、霧島の良さをPRし、情報発信に努め、時季を見て、行ってみたいと思わせる情報を掲載している。限られた予算の中でもより多くの方に効果的に情報を発信できるよう努めていく必要がある。				

1. 基本情報						
事務事業番号	02151	事務事業名	観光宣伝事業	担当部	商工観光部	
政策名	001	にぎわい(産業の活力があふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)		担当課	観光PR課	
施策名	004	地域特性を生かした観光の推進		グループ	観光振興グループ	
基本事業名	001	国内外の観光客の誘致		内線番号	2612	
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	07	商工費		単年度繰返(開始年度 ~)	
	項	01	商工費		期間限定複数年度(~)	
	目	04	観光費		根拠法令・条例等 特になし	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市観光総合戦略	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 本市へ観光客を誘致することを目的に、各種観光宣伝を実施する。
【主な活動内容】 効果的なイベント等への参加、マスコミ等表敬訪問の実施
 本市観光の魅力を伝えるための観光パンフレットやポスターの製作、発送
【主な活動場所】 首都圏、関西圏、東海地方、中国地方、北部九州地区
【平成31年度宣伝実施実績】
 観光素材説明会(東京・名古屋・大阪・福岡)、関空旅博(大阪)、ラグビーW杯関連PR(熊本)、東京おもちゃショー(東京)、教育旅行セールス(首都圏・関西・中国)、津津市産業感謝祭(岐阜)、鹿児島ユナイテッドホームゲーム(鹿児島市)、ベストドレッサー賞授賞式(東京)、雲仙市産業祭(長崎)、旬の鹿児島共同キャンペーン(福岡)、北前船寄港地フォーラム(鹿児島市)、観光マッチング2020(福岡)、NHK「はっけんテレビ」出演(福岡)、KBC「アサデス。九州山口」出演(福岡)

活動指標(事務事業の活動量)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(見込)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)
ア 実施回数	回	33	32	23	32
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(見込)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)
ア 国民	日本の人口	千人	126,435	126,600	126,167	125,325
イ						
ウ						

意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(目標)	令和2年度(目標)	令和3年度(目標)
ア 各種イベント・観光宣伝で霧島市を知ることが出来る。	宣伝日数(延べ)	日	78	78	45	78
イ						
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)
 日本初の国立公園「霧島」をはじめ、本市特有の歴史や文化、豊富な温泉や食などの多種多様な観光素材、空港や鉄道、高速道路などが整備された、観光地としてのポテンシャルを最大限に生かすため、霧島市観光協会をはじめとする観光関係団体や地域と一体となった誘客活動を更に推進します。
 また、国内外において本市の知名度を向上させるため、「観光地・霧島」のブランドの方向性を明確にするとともに、SNSなど市民による情報発信力の強化など、様々な手法による戦略的な情報発信の取組を推進します。

3. 前年度の評価表に記載した課題

平成31年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)
 ターゲット及び出発地を明確にしたセールス活動を行うことで霧島市への観光客誘客へとつなげていく。霧島山の状況を考慮しつつ、霧島市内でのセールスポイントを季節ごとに売り出していき、そのために各種パンフレットの見直しや、職員ごとのパソコンでインターネットを繋げるよう整備をしていく。

4. 事業費の推移

事業費	単位	30年度	31年度		2年度	3年度
		決算	当初予算	決算	当初予算	計画
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
県支出金	千円	0	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	4,192	4,956	4,711	3,522	3,522
事業費	千円	4,192	4,956	4,711	3,522	3,522

5. 平成31年度の実績及び成果

(1) 平成31年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成31年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<ul style="list-style-type: none"> 観光宣伝イベント参加数: 7回 旅行商品商談会等参加数: 6回 修学旅行関連セールス数: 4回 メディア出演: 2回 地元イベント参加数: 3回 観光パンフレット発送数: 363件 	<ul style="list-style-type: none"> 県及び県内自治体との広域連携の事業等において、集客力の高いイベントに参加し、本市の魅力を広く周知することができた。 観光素材説明会に参加し、旅行エージェント等に対し旅行商品造成に向けた本市の観光素材等の説明及び情報提供を行った。 本市への来訪が最も多い九州圏域を対象とした情報番組に出演し、本市の魅力を広く周知することができた。

事務事業 番号	02151	事務 事業名	観光宣伝事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光PR課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		総合評価
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A
		理由 本市への観光誘客を行うためには、市の魅力ある情報を広く周知する必要があり、本事業を継続して取り組まなければならない。実施場所や時期、ターゲット等を考慮し、効率的、効果的な事業を行う必要がある。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充			
	維持			レ	
	縮小				
	休廃止（統合含む）				
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 令和2年度の改革改善の内容（取り組むべき課題）	市場動向や観光客のニーズ等を的確に捉え、発地やターゲット層、時期等に合わせた宣伝活動等を行うことでより効果的な宣伝が実施できる。また、メディア等を活用することで、本市の情報をより広く周知することができる。 引き続き、県及び県内自治体、関係団体等と連携した宣伝活動を展開する。				
(3) 令和3年度の方向性（具体的な取組）	本市の魅力ある観光資源を広く周知できるよう、各種メディアやウェブ等を活用した効果的な情報発信を行うとともに、観光客のニーズに応じた情報提供や資料配布等を行い、本市への観光誘客に努める。 霧島市観光総合戦略の基本目標である「国内外の観光客の誘致」に基づき、本市への来訪を促すよう積極的な観光宣伝を展開する。				

8. 2次評価結果（担当部長評価）		評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充	
	維持		
	縮小		
	休廃止（統合含む）		
		皆減	縮小 維持 拡大
		コスト投入（予算）の方向性	
(2) 総評			

1. 基本情報					
事務事業番号	02152	事務事業名	市観光協会活動支援事業	担当部	商工観光部
政策名	001	にぎわい(産業の活力があふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)		担当課	観光PR課
施策名	004	地域特性を生かした観光の推進		グループ	観光振興グループ
基本事業名	001	国内外の観光客の誘致		内線番号	2612
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ 単年度繰返(開始年度 ~) 期間限定複数年度(~)
	款	07 商工費			
	項	01 商工費			
	目	04 観光費			
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	根拠法令・条例等	関連計画

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 (公社)霧島市観光協会の事業及び運営補助として補助金を交付している。
 市の活動...同協会に補助金を支出するための手続き(申請書の受理、交付決定、補助金交付)を行う。
 同協会の活動...観光案内、霧島市の情報発信、観光商品の開発、チラシの作成・配布、観光イベントの実施
 (公社)霧島市観光協会は、(社)大霧島観光協会・国分市観光協会・隼人町観光協会、国立公園霧島観光協会が合併し平成21年4月に発足し、平成25年4月1日から公益社団法人に移行
 誘致促進事業...観光イベントの開催・出展等、雑誌メディアへの情報提供、ホームページ等による情報発信、コンベンション誘致事業、自転車天国霧島、諸団体との連携及び提携事業
 受入整備事業...観光案内所(3箇所)の運営、観光マップ作成事業、インバウンド対策事業

活動指標(事務事業の活動量)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(見込)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)
ア 補助した団体数	団体	1	1	1	1
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(見込)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)
ア 観光業者・従事者	観光協会に加入している事業所数	事業所	236	240	232	240
イ						
ウ						
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(目標)	令和2年度(目標)	令和3年度(目標)
ア 市観光協会の活動運営を支援することで観光誘客のための事業を推進する。	観光宣伝をした回数	回	8	9	6	5
イ 市観光協会の活動運営を支援することで観光誘客のための事業を推進する。	イベントを実施した回数	回	15	15	2	5
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)
 日本初の国立公園「霧島」をはじめ、本市特有の歴史や文化、豊富な温泉や食などの多種多様な観光素材、空港や鉄道、高速道路などが整備された、観光地としてのポテンシャルを最大限に生かすため、霧島市観光協会をはじめとする観光関係団体や地域と一体となった誘客活動を更に推進します。
 また、国内外において本市の知名度を向上させるため、「観光地・霧島」のブランドの方向性を明確にするとともに、SNSなど市民による情報発信力の強化など、様々な手法による戦略的な情報発信の取組を推進します。

3. 前年度の評価表に記載した課題

平成31年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)
 現在行っている観光客の誘致促進事業や、観光客の受入整備事業を見直し、新たな事業展開を図る。
 昨年引き継ぎ課題を踏まえ、意見交換会を密にし、市と観光協会が一体となった誘致宣伝活動やインターネットなどを活用した新たな情報発信に努める必要がある。
 併せて、自主事業の費用対効果を分析し、スクラップアンドビルドに取り組む必要がある。

4. 事業費の推移

事業費	投入量	財源内訳	単位	30年度	31年度		2年度	3年度
				決算	当初予算	決算	当初予算	計画
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	23,700	23,506	23,506	23,363	23,363
		事業費	千円	23,700	23,506	23,506	23,363	23,363

5. 平成31年度の実績及び成果

(1) 平成31年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成31年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
1. 観光客の誘致促進事業 ・天孫降臨霧島祭：入場者数1,200名 ・自転車天国霧島(レンタサイクル)：利用者数138名(前年比97%) ・多言語HP「JAPANinJAPAN KIRISHIMA」 ・官民合同セールス(ベトナム)、観光マッチング2020(福岡)等への参加 (最大集客イベントである「龍馬ハネムーンウォークin霧島」はコロナウイルス感染拡大防止のため中止) 2. 観光客の受入整備事業 ・観光案内所の運営...市内3箇所 ・地区別観光マップ作成...霧島牧園版21,000部、国分隼人版7,500部 ・インバウンド対策事業 ...「和服で参拝、ぶらり霧島神宮」利用者数546名(内インバウンド340名)等	写真共有アプリ「instagram」を活用して、国内外の幅広い世代に向けて情報発信を開始し、県が実施したベトナム官民合同セールスにも参加して、本市の周知及び魅力発信に繋がった。また、市とも情報提供・意見交換を密にし、一体となった誘致宣伝活動に取り組み、観光協会会員とも情報提供・意見交換を活発に行なった。さらに、市内観光関係団体等の事務局を多数請け負い、多方面との連携や調整を行い、円滑な事業実施を行った。(新型コロナウイルス感染拡大によりイベント等の中止あり)

事務事業 番号	02152	事務 事業名	市観光協会活動支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光PR課

6. 振返り <SEE (check) >			
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？	
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である	
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である	
	結びついていない	見直す必要がある	
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？	
	向上する余地はかなりある	影響がある	
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある	
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない	
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	
	削減できない	削減できない	
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある	
	削減できる	削減できる	
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	公平・公正である		
	見直す必要がある		
総合評価判定基準		総合評価	理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A	観光を基幹産業とする本市において、専門的に観光事業を実施し地域経済振興に寄与できている。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 成 果 性 (—)	拡 充			
		維 持			レ
		縮 小			
	休廃止（統合含む）				
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 令和 2年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	国内外のニーズや生活様式に沿ってこれまでの事業を見直し、改善を行いながら、新たな視点での事業を実施していく必要がある。さらに、新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮しながら、誘客と地域経済の回復に向けて、より綿密に市や地元団体等との連携を密にしていける必要がある。				
(3) 令和 3年度の方向性 (具体的な取組)	新型コロナウイルス感染状況等を踏まえ、ホテル・旅館等をはじめとする観光関係団体の状況や意見を収集し、連携を取りながら、効果的な事業実施を行う。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者				職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 成 果 性 (—)	拡 充					
		維 持					
		縮 小					
	休廃止（統合含む）						
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大		
		コスト投入（予算）の方向性					
(2) 総評							

1. 基本情報						
事務事業番号	02153	事務事業名	観光客誘客事業	担当部	商工観光部	
政策名	001	にぎわい(産業の活力があふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)		担当課	観光PR課	
施策名	004	地域特性を生かした観光の推進		グループ	観光振興グループ	
基本事業名	001	国内外の観光客の誘致		内線番号	2612	
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	07	商工費		単年度繰返(開始年度 ~)	
	項	01	商工費		期間限定複数年度(~)	
	目	04	観光費		根拠法令・条例等	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 本事業は、霧島市内の観光関係組織で構成され、本市への誘客促進と地域経済の発展を目的に活動を展開している「いざ霧島キャンペーン実行委員会」への事業補助金を支出している。
 同実行委員会は、事務局を市観光協会と市観光課で担い、平成22年度の口蹄疫からの復興を目的に設立され、これまで新燃岳噴火に伴う風評被害対策やPRキャラクター事業、関係団体への支援事業などを大きな事業に掲げ実施してきた。
 また、本市を来訪する観光客の満足度を高め、再訪に繋げるために、官民一体となった観光業従事者の「おもてなし」意識の向上にも繋げる事業を実施している。

活動指標 (事務事業の活動量)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (見込)	令和 2年度 (見込)	令和 3年度 (見込)
ア 補助した団体数	団体	1	1	1	1
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (見込)	令和 2年度 (見込)	令和 3年度 (見込)
ア 観光業者・従事者	観光協会に加入している事業所数	事業所	236	239	232	245
イ						
ウ						

意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (目標)	令和 2年度 (目標)	令和 3年度 (目標)
ア 経済的に豊かにする	観光客数(宿泊+日帰り)	人	7,606,885	7,797,200	7,489,312	7,875,200
イ						
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針 (総合計画より)
 日本初の国立公園「霧島」をはじめ、本市特有の歴史や文化、豊富な温泉や食などの多種多様な観光素材、空港や鉄道、高速道路などが整備された、観光地としてのポテンシャルを最大限に生かすため、霧島市観光協会をはじめとする観光関係団体や地域と一体となった誘客活動を更に推進します。
 また、国内外において本市の知名度を向上させるため、「観光地・霧島」のブランドの方向性を明確にするとともに、SNSなど市民による情報発信力の強化など、様々な手法による戦略的な情報発信の取組を推進します。

3. 前年度の評価表に記載した課題

平成31年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)
 温泉を活用した事業として、霧島温泉大使アヒル隊長を使った誘客活動は引き続き実施したい。さらに、増加が見込まれる観光客に対して、各地域における観光素材の開発、受け入れ体制の整備を積極的に進めていく必要がある。また、広域連携の取組である指宿との事業は、昨今の観光動向をみても引き続き重要であるため、継続して実施していきたい。

4. 事業費の推移

事業費	単位	30年度 決算	31年度		2年度 当初予算	3年度 計画
			当初予算	決算		
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
県支出金	千円	0	0	4,000	0	0
地方債	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	3,500	0	0	0	0
一般財源	千円	18,500	6,500	6,500	6,500	6,500
事業費	千円	22,000	6,500	10,500	6,500	6,500

5. 平成31年度の実績及び成果

(1) 平成31年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成31年度の実績(取組)による成果を記載
<p>通年事業として、アヒル隊長を活用したPRキャラクター事業、活性化団体支援事業、誘客キャンペーン助成事業、指宿市との広域連携事業などのほか、県地域振興推進事業を活用して本市のイメージアップを図る「KIRISHIMAポジティブプロモーション事業」では、WEBやSNS、新聞、テレビのメディアを活用した情報発信、本市独自の素材を活かした周遊促進スタンプラリー、東京都内地下鉄車内における広告掲載などを実施した。さらに、温泉を活用したスタンプラリー「ゆ旅」については、従来の紙による手法を廃止し、独自のデジタルスタンプラリーシステムを開発し、次年度から開始する準備期間とした。</p>	<p>市内で自主的に活動する活性化団体や高校への支援、誘客が見込まれる事業への助成を行い、官民一体となった誘客に対する意欲の向上に繋がった。また、初めてSNSを活用した情報発信を行い、本市の存在すら知らない若年層に向け、人気モデル等を起用し、本市の周知拡大と魅力発信に繋がった。</p>

事務事業 番号	02153	事務 事業名	観光客誘客事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光PR課

6. 振返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		官民観光関係団体が一体となり、効果的な事業実施が行われている。
総合評価		A

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < < 継続・やり方改善 > >			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充			レ
		維 持			
		縮 小			
		休廃止（統合含む）			
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 令和 2年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	新型コロナウイルス感染拡大の状況等を注視しながら、官民一体の組織として構成する団体からの意見を聴取し、新たな取組や既存事業のブラッシュアップ、また本市ならではの素材を活用した更なる発信が必要である。				
(3) 令和 3年度の方向性 (具体的な取組)	新型コロナウイルス感染拡大の状況等を注視しながら関係団体の意見や状況により、観光客の誘致と地元経済の回復に繋がる事業を実施していく必要がある。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	職・氏名	商工観光部長	谷口 隆幸
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充			レ
		維 持			
		縮 小			
		休廃止（統合含む）			
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 総評	官民一体の組織である「いざ霧島キャンペーン実行委員会」を構成する霧島市観光協会や霧島商工会議所、霧島市商工会、各温泉旅館協会等、各団体の意見を集約し、事業を実施しているが、今後は新型コロナウイルス感染拡大の状況等を見極めながら、安心して観光客を迎えることができる体制を維持し、効率的で有効な手段を見出し、観光客の誘致につなげる必要がある。				

1. 基本情報						
事務事業番号	02155	事務事業名	森林セラピー推進事業	担当部	商工観光部	
政策名	001	にぎわい(産業の活力があふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)		担当課	観光PR課	
施策名	004	地域特性を生かした観光の推進		グループ	観光振興グループ	
基本事業名	002	観光素材の創出と活用		内線番号	2612	
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	07	商工費		単年度繰返(開始年度 平成17年度 ~)	
	項	01	商工費		期間限定複数年度(~)	
	目	04	観光費		根拠法令・条例等 特になし	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市観光総合戦略	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 森林セラピーとは、森林の持つリラックス効果を五感を通して感じることで心身を癒し、健康維持・増進を図る取り組みである。霧島市は平成19年(2007年)3月に鹿児島県で初めての『森林セラピー基地』に認定された。認定基地及び認定ロードではその地域独自のセラピーメニューを考案して観光振興や地域振興に活用することができる。
 森林セラピー基地: 専門家による生理・心理・物理実験等を通してその高いリラックス効果が実証された森林を擁するとともに、良質な関連施設があると認められた地域のこと。『リラックス効果が科学的に実証されている』という点で、単なる『森林浴』とは異なる。
 <関連計画> 観光基本計画
 【森林セラピーロード】 柳ヶ平散策路、手洗散策路、丸尾自然探勝路、霧島神水峡遊歩道

活動指標 (事務事業の活動量)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (見込)	令和 2年度 (見込)	令和 3年度 (見込)
ア 体験イベントの回数	回	2	1	1	2
イ セラピーロード数	本	4	5	4	5
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (見込)	令和 2年度 (見込)	令和 3年度 (見込)
ア 観光客(イベント参加者)	イベント参加者数	人	81	100	42	100
イ 指導者(森林セラピーガイド)	セラピーガイド会員数	人	10	16	10	16
ウ						

意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (目標)	令和 2年度 (目標)	令和 3年度 (目標)
ア 癒される	イベント満足度	%	100	100	100	100
イ ガイドを養成する	養成回数	回	0	5	0	5
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)
 本市の特性である海拔0メートルから1,700メートルにわたる海、山などの恵まれた大自然の魅力を生かし、着地型(体験型)の観光メニューや観光ルートの構築、地域の食材にこだわったご当地メニューの開発や提供など「五感に響く、魅力ある、選ばれる観光地づくり」を推進します。
 また、ガイドクラブなどの活動支援や観光素材の魅力を高める取組を進めるとともに、周遊観光の促進を図るため、広域観光ルートの開発や素材の活用を推進します。

3. 前年度の評価表に記載した課題

平成31年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)
 霧島市が森林セラピー基地に認定され10年以上経過するが、今なお森林セラピーが市民に浸透しているとは言えない。そのため、森林セラピーとその効果の周知をさらに図る。また、福利厚生観点から森林セラピーが活用されるよう、ガイドと連携しながら民間等への働きかけも行っていきたい。

4. 事業費の推移

事業費	単位	30年度	31年度		2年度	3年度
		決算	当初予算	決算	当初予算	計画
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
県支出金	千円	0	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	1,344	1,385	1,362	772	772
事業費	千円	1,344	1,385	1,362	772	772

5. 平成31年度の実績及び成果

(1) 平成31年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> 森林セラピーイベントの開催(11月) 霧島市森林セラピー推進協議会(事務局:観光課内)の主催でイベントを1回実施した。通常の森林セラピーだけでなく、霧島ならではの魅力を盛り込むことで、参加者からの満足度も高いイベントとなった。	(2) 平成31年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載> 11月にセラピーイベントを実施し、イベント参加者のうち100%の方がよかったと回答した。
---	---

事務事業 番号	02155	事務 事業名	森林セラピー推進事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光PR課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		総合評価
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A
		理由 森林セラピーの癒し効果等の周知が図られれば、観光に活用できる資源が開発されることにつながるため。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 成 果 性 (成 果)	拡 充			レ
		維 持			
		縮 小			
		休廃止（統合含む）			
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
コスト投入（予算）の方向性					
(2) 令和 2年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	霧島市が森林セラピー基地に認定され10年以上経過するが、今なお森林セラピーが市民に浸透しているとは言えない。そのため、森林セラピーとその効果の周知をさらに図る。また、福利厚生観点から森林セラピーが活用されるよう、ガイドと連携しながら民間等へ働きかけも行っていきたい。				
(3) 令和 3年度の方向性 (具体的な取組)	森林セラピーを観光だけでなく、心身の健康増進の観点からその価値を強めるよう事業に取り組む。福祉部局や県教職員組合への森林セラピー活用の提案（セラピーイベントと同様の温泉券の助成ができないか）				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	職・氏名	商工観光部長	谷口 隆幸
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 成 果 性 (成 果)	拡 充			レ
		維 持			
		縮 小			
		休廃止（統合含む）			
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
コスト投入（予算）の方向性					
(2) 総評	県内で唯一認定された森林セラピー基地として、イベントの実施により周知に努め、参加者の満足度も良い評価を得ているが、今後は森林セラピーのリラックス効果や4つのコースを活用して、健康増進の観点からも積極的にPRしていく必要がある。				

1. 基本情報						
事務事業番号	02156	事務事業名	初午祭開催支援事業	担当部	商工観光部	
政策名	001	にぎわい(産業の活力があふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)		担当課	観光PR課	
施策名	004	地域特性を生かした観光の推進		担当課長	寶徳 太	
基本事業名	002	観光素材の創出と活用		グループ	観光振興グループ	
予算科目目	会計 一般会計 款 07 商工費 項 01 商工費 目 04 観光費	事業期間	単年度のみ 単年度繰返(開始年度 ~) 期間限定複数年度(~)			
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	根拠法令・条等	関連計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 多年にわたり、鹿児島神宮周辺住民の生活の中で受け継がれてきた「記録作成等の措置を構すべき無形の民俗文化財」に選択された「薩摩の馬踊りの習俗」を後世に保存・継承するとともに、初午祭の円滑な事業推進を図る。

活動指標 (事務事業の活動量)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (見込)	令和 2年度 (見込)	令和 3年度 (見込)
ア 初午祭に訪れた人数	万人	10	10	5	10
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (見込)	令和 2年度 (実績)	令和 2年度 (見込)	令和 3年度 (見込)
ア 霧島市を訪れた観光客数	観光客数	人	7,606,885	7,797,200	7,489,312	7,875,200	7,954,000
イ							
ウ							
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (目標)	令和 2年度 (実績)	令和 2年度 (目標)	令和 3年度 (目標)
ア 初午祭を訪れることにより、霧島市の魅力を再認識できる。	初午祭に訪れた人数	万人	10	10	5	10	10
イ							
ウ							

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)
 本市の特性である海拔0メートルから1,700メートルにわたる海、山などの恵まれた大自然の魅力を生かし、着地型(体験型)の観光メニューや観光ルートの構築、地域の食材にこだわったご当地メニューの開発や提供など「五感に響く、魅力ある、選ばれる観光地づくり」を推進します。また、ガイドクラブなどの活動支援や観光素材の魅力を高める取組を進めるとともに、周遊観光の促進を図るため、広域観光ルートの開発や素材の活用を推進します。

3. 前年度の評価表に記載した課題

平成31年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)
 初午祭の開催においては馬主・踊り連が出場して祭りが成り立つものであり、農耕馬が周りにいなくなった現代では、出場頭数の減少が喫緊の問題である。初午祭の保存・継承に関する事業内において各関係者と意見交換会を開催しながら今後の安定的な初午祭の開催について協議を進めていく。また、例年出場している団体が固定してきているので、広く募集を行う。

4. 事業費の推移

事業費	単位	30年度 決算	31年度		2年度 当初予算	3年度 計画
			当初予算	決算		
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
県支出金	千円	0	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	2,453	2,453	2,453	2,453	2,453
事業費	千円	2,453	2,453	2,453	2,453	2,453

5. 平成31年度の実績及び成果

(1) 平成31年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>
 令和2年2月16日開催の初午祭に向けて、実行委員会をはじめ、交通警備打合せや奉納抽選会を開催し、地元の方々や各種関係団体と連携を図りながら、安心安全な祭りの運営に努めた。

(2) 平成31年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
 当日は雨天であったことから、平年に比べて観光客は少なかったが、開催に向けて広告等、PRを積極的に行った。

事務事業 番号	02156	事務 事業名	初午祭開催支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光PR課

6. 振返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		総合評価
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		B
		理由 本市の代表的な祭りであるとともに、文化財の保存の観点からも開催を支援していくことが必要である。しかし、初午祭の開催においては馬主・踊り連が出演して祭りが成り立つものであり、農耕馬が周りにいなくなった現代では、出場頭数の減少が喫緊の問題である。各関係者と意見交換会を開催しながら今後の安定的な初午祭の開催について協議を進めていく必要がある。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業(成果)の方向性	拡充			
		維持		レ	
		縮小			
	休廃止(統合含む)				
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入(予算)の方向性			
(2) 令和2年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	初午祭の開催においては馬主・踊り連が出演して祭りが成り立つものであり、農耕馬が周りにいなくなった現代では、出場頭数の減少が喫緊の問題である。「初午祭の保存・継承に関すること」の事業内において、各関係者と意見交換会を開催しながら今後の安定的な初午祭の開催について協議を進めていく。また、初午祭を開催する上で、新型コロナウイルスの対策を今後検討していく必要がある。				
(3) 令和3年度の方向性(具体的な取組)	実行委員会・交通警備打合せ会・奉納抽選会等を開催し、初午祭の開催へとつなげていく。その中で上記意見交換会で出た協議をさらに進めていく。				

8. 2次評価結果(担当部長評価)		評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業(成果)の方向性	拡充	
		維持	
		縮小	
	休廃止(統合含む)		
		皆減	縮小 維持 拡大
		コスト投入(予算)の方向性	
(2) 総評			

1. 基本情報						
事務事業番号	02158	事務事業名	安楽妙見温泉街並みづくり活動支援事業		担当部	商工観光部
政策名	001	にぎわい(産業の活力があふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)			担当課	観光PR課
施策名	004	地域特性を生かした観光の推進			グループ	観光振興グループ
基本事業名	002	観光素材の創出と活用			内線番号	2612
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	07	商工費		単年度繰返(開始年度 ~)	
	項	01	商工費		期間限定複数年度(~)	
	目	04	観光費		根拠法令・条例等 霧島市補助金交付規則	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市観光戦略	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 妙見・安楽地域の活性化と連帯感を深めることを目的として設立された団体で、地域住民を会員として運営されている。妙見温泉振興会・安楽温泉振興会に対し、国道223号沿線に花を植栽するための補助金を交付している。
 (市の活動)
 妙見温泉振興会・安楽温泉振興会に補助金を支出するための手続き(申請書の受理・交付決定・補助金交付・補助金精算)を行う。
 (団体の活動)
 日本最古の温泉由来がある安楽温泉の景勝と街並みを守り、地域振興の発展のため、旧牧園町の町木であるモミジを継続的に植栽し、安楽温泉の名所づくりに努め、市内外からの集客を図り、霧島市の観光事業行政に寄与することを目的としている。

活動指標(事務事業の活動量)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(見込)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)
ア 補助した団体数	団体	2	2	2	2
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(見込)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)
ア 妙見・安楽地区の団体	補助した団体数	団体	2	2	2	2
イ						
ウ						

意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(目標)	令和2年度(目標)	令和3年度(目標)
ア 景観向上のための整備をする。	植栽等モミジ管理活動回数	回	5	5	4	5
イ 景観向上のための整備をする。	管理施設数(H31;和気源、えのき公園)	箇所	2	2	2	2
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)
 本市の特性である海拔0メートルから1,700メートルにわたる海、山などの恵まれた大自然の魅力を生かし、着地型(体験型)の観光メニューや観光ルートの構築、地域の食材にこだわったご当地メニューの開発や提供など「五感に響く、魅力ある、選ばれる観光地づくり」を推進します。また、ガイドクラブなどの活動支援や観光素材の魅力を高める取組を進めるとともに、周遊観光の促進を図るため、広域観光ルートの開発や素材の活用を推進します。

3. 前年度の評価表に記載した課題

平成31年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)
 和気公園までの紅葉街道づくりや和気神社・犬飼の滝周辺の看板街灯管理、龍馬ハネムーンウォークや九州オルレコースの下刈り整備等を行うことで、同地区を訪れる観光客に対して美しい景観を提供し、観光客の満足度アップに努める。

4. 事業費の推移

事業費	単位	30年度決算	31年度		2年度		3年度	
			当初予算	決算	当初予算	計画		
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
地方債	千円	0	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	0	
一般財源	千円	615	615	615	615	615	615	
事業費	千円	615	615	615	615	615	615	

5. 平成31年度の実績及び成果

(1) 平成31年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成31年度の実績 <左記の実績(取組)による成果を記載>
(補助した団体数) 2団体 (補助金額) ・妙見温泉振興会 347,500円 ・安楽温泉振興会 267,500円	和気公園までのモミジ街道づくり(枯れた植栽の補填含む)に加え、藤まつりへの参加、和気神社・犬飼の滝周辺の看板及び街灯管理、龍馬ハネムーンウォークや九州オルレコースの下刈り整備等を行った。また、台風による倒木伐採等も行った。 妙見・安楽の各温泉振興会へ街並みづくり(花の植栽)に係る補助金を交付し、霧島地域の観光の玄関口である同地区の国道223号沿いにもみじを植栽したり、草刈等の整備を実施することで、景観を向上させ、観光客へ「観光地霧島」というイメージを持ってもらうことに努めた。モミジの植栽は、初回の植栽からH31年度末日まで約820本に及んでいる。

事務事業 番号	02158	事務 事業名	安楽妙見温泉街並みづくり活動支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光PR課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	

総合評価判定基準	総合評価	理由
A: 継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B: 事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C: 事業の統合、休・廃止の検討	A	（妙見温泉振興会） 和気湯の維持・駐車場借料、えのき公園温泉借料、通りの街灯の維持費に補助金を充てている。今後益々、施設の維持費にも費用がかかることを最低限の予算で行っている。 （安楽温泉振興会） 主にモミジの植栽に補助金を充てている。近年は、新規の植栽数は減少しているが、モミジの補植等を年4～5回行っている。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業(成果)の方向性	拡充			
		維持		レ	
		縮小			
	休廃止(統合含む)				
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入(予算)の方向性			
(2) 令和2年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	当地区を訪れる観光客に対して美しい景観を提供し、かつ観光客の満足度向上に繋がる事業へ展開する。				
(3) 令和3年度の方向性(具体的な取組)	引き続き、和気公園・犬飼滝周辺温泉地として、公園までのモミジ街道づくりや「湯治とモミジの里づくり」を視野に継続して事業を展開する。その他、各地の清掃・メンテナンス・修繕等を行い、観光客誘致に繋がる街並み整備を実施する。				

8. 2次評価結果(担当部長評価)		評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業(成果)の方向性	拡充	
		維持	
		縮小	
	休廃止(統合含む)		
		皆減	縮小
			維持
			拡大
		コスト投入(予算)の方向性	
(2) 総評			

1. 基本情報						
事務事業番号	02159	事務事業名	日当山温泉旅館組合運営支援事業		担当部	商工観光部
政策名	001	にぎわい(産業の活力があふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)			担当課	観光PR課
施策名	004	地域特性を生かした観光の推進			グループ	観光振興グループ
基本事業名	002	観光素材の創出と活用			内線番号	2612
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	07	商工費		単年度繰返(開始年度 平成17年度 ~)	
	項	01	商工費		期間限定複数年度(~)	
	目	04	観光費		根拠法令・条約等 霧島市補助金交付規則	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		関連計画	霧島市観光総合戦略

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>						
(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)						
日当山温泉旅館組合とは、日当山地区への観光客誘致を目的として設立した団体。日当山地区の宿泊施設を会員として運営されている団体である。 (市の活動) 日当山地区を訪れた観光客の受入のため、日当山温泉旅館協会が行っている観光誘致宣伝活動などの事業に対し入湯税の還元として補助金を支給している。 補助金申請受付 補助金確定通知 補助金請求 補助金交付 事業実績報告(補助金精算) 補助金交付実績 H29年度 286,000円 H30年度 265,000円 H31年度 289,000円						
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (見込)	令和2年度 (見込)	令和3年度 (見込)
ア	補助した団体数	団体	1	1	1	1
イ	会員数	件	9	9	9	9
ウ						
(2) 事務事業の目的						
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (見込)	令和2年度 (見込)	令和3年度 (見込)
ア	霧島市を訪れた観光客数	人	7,606,885	7,797,200	7,489,312	7,875,200
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (目標)	令和2年度 (目標)	令和3年度 (目標)
ア	日当山地区を知ってもらう。	件	5	6	7	6
イ						
ウ						
(3) 総合計画との関係						
基本事業の目的、取組方針(総合計画より)						
本市の特性である海拔0メートルから1,700メートルにわたる海、山などの恵まれた大自然の魅力を生かし、着地型(体験型)の観光メニューや観光ルートの構築、地域の食材にこだわったご当地メニューの開発や提供など「五感に響く、魅力ある、選ばれる観光地づくり」を推進します。 また、ガイドクラブなどの活動支援や観光素材の魅力を高める取組を進めるとともに、周遊観光の促進を図るため、広域観光ルートの開発や素材の活用を推進します。						

3. 前年度の評価表に記載した課題		4. 事業費の推移					
平成31年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)		単位	30年度 決算	31年度 当初予算	2年度 当初予算	3年度 計画	
日当山夏祭り等イベントを行い、観光客誘致と地域活性化、日当山地区の情報発信を行う。 ホームページやリーフレットを活用した観光宣伝等を行い、日当山地区の知名度向上を図る。		財源内訳	0	0	0	0	
		国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	265	289	289	300
事業費	千円	265	289	289	300		

5. 平成31年度の実績及び成果	
(1) 平成31年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成31年度の実績(取組)による成果を記載>
浴育活動 温泉施設での体験学習 日当山夏祭りや日当山秋の収穫祭と連携した誘客活動 西郷どん村イベント(軽トラ市)参加 宣伝チラシ作成	日当山夏祭りや秋の収穫祭、日当山西郷どん村でのイベントに参画することで、地域の活性化が図られた。「浴育学習」を日当山小学校三年生に対し年間10時間分の授業を行い、日当山旅館組合の3つの施設の体験学習や日当山温泉郷の特性等を子どもたちに伝えることができた。

事務事業 番号	02159	事務 事業名	日当山温泉旅館組合運営支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光PR課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
B 有効性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
C 効率性	事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ 補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
D 公平性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		総合評価
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A
		理由 日当山温泉旅館組合は、来訪者をもてなす受け皿として、観光関連従事者の資質向上や観光施設の整備等を行い、受入環境を整備する必要があるため、継続して事業を実施する必要がある。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充			
	維持			レ	
	縮小				
	休廃止（統合含む）				
		皆減	縮小	維持	拡大
コスト投入（予算）の方向性					
(2) 令和2年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	日当山地区内での各種イベントにて、観光客誘致と地域活性化を図る。 安定した会費徴収を促し、安定した組合の運営を図る。 新型コロナウイルス感染症に起因する観光客数減少の回復を目的とした活動に取り組む。				
(3) 令和3年度の方向性 (具体的な取組)	観光協会やいざ霧島キャンペーン実行委員会、各種旅館協会等との連携を強化し、市一体とした運営を行う。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者				職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充					
	維持						
	縮小						
	休廃止（統合含む）						
		皆減	縮小	維持	拡大		
コスト投入（予算）の方向性							
(2) 総評							

1. 基本情報						
事務事業番号	02160	事務事業名	妙見・安楽地区観光客誘致活動支援事業		担当部	商工観光部
政策名	001	にぎわい(産業の活力があふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)			担当課	観光PR課
施策名	004	地域特性を生かした観光の推進			グループ	観光振興グループ
基本事業名	002	観光素材の創出と活用			内線番号	2612
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	07	商工費		単年度繰返(開始年度 ~)	
	項	01	商工費		期間限定複数年度(~)	
	目	04	観光費		根拠法令・条例等 霧島市補助金交付規則	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市観光総合戦略	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>															
(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)															
<p>妙見・安楽温泉郷の中にある妙見温泉振興会、安楽温泉振興会の運営・宣伝事業に対し入湯税の還元として補助金を交付している。(市の活動)妙見温泉振興会及び安楽温泉振興会に補助金を支出するための手続き(申請書の受理、交付決定、実績報告、補助金交付)を行う。補助金申請受付 補助金確定通知 補助金請求 補助金交付</p> <p>(各団体の活動)妙見・安楽地区を訪れた観光客の受入のための事業を行う。(モミジ植栽、サイン整備、街路灯の管理)</p> <p>*妙見温泉振興会及び安楽温泉振興会とは、観光客誘致を目的として設立した団体。妙見・安楽地区の宿泊施設を会員として運営されている団体である。</p> <p>(補助金額)</p> <table border="1"> <tr> <td>妙見温泉振興会</td> <td>H30年度</td> <td>H31年度</td> </tr> <tr> <td>運営補助金</td> <td>74,000</td> <td>74,000</td> </tr> <tr> <td>宣伝事業補助金</td> <td>32,000</td> <td>35,000</td> </tr> </table>							妙見温泉振興会	H30年度	H31年度	運営補助金	74,000	74,000	宣伝事業補助金	32,000	35,000
妙見温泉振興会	H30年度	H31年度													
運営補助金	74,000	74,000													
宣伝事業補助金	32,000	35,000													
活動指標 (事務事業の活動量)															
	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (見込)	令和2年度 (見込)	令和3年度 (見込)										
ア 補助した団体数	団体	2	2	2	2	2									
イ															
ウ															
(2) 事務事業の目的															
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (見込)	令和2年度 (見込)	令和3年度 (見込)									
ア 霧島市を訪れた観光客数	観光客数	人	7,606,885	7,797,200	7,489,312	7,875,200									
イ															
ウ															
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (目標)	令和2年度 (目標)	令和3年度 (目標)									
ア 安楽地区を知ってもらおう	誘客のための宣伝活動回数(5回;神社祭り、アユ祭り、藤祭り、嘉例川森の祭り、九州オルレフェア)	件	4	7	5	6									
イ 妙見地区を知ってもらおう	誘客のための宣伝活動回数(6回;日本温泉協会 総会、ねこ写真展 2/1~29、藤祭り、日本温泉地域学	件	9	7	6	7									
ウ															
(3) 総合計画との関係															
基本事業の目的、取組方針(総合計画より)															
本市の特性である海拔0メートルから1,700メートルにわたる海、山などの恵まれた大自然の魅力を生かし、着地型(体験型)の観光メニューや観光ルートの構築、地域の食材にこだわったご当地メニューの開発や提供など「五感に響く、魅力ある、選ばれる観光地づくり」を推進します。また、ガイドクラブなどの活動支援や観光素材の魅力を高める取組を進めるとともに、周遊観光の促進を図るため、広域観光ルートの開発や素材の活用を推進します。															

3. 前年度の評価表に記載した課題		4. 事業費の推移						
平成31年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)		単位	30年度 決算	31年度 当初予算	2年度 当初予算	3年度 計画		
<p>藤まつりや温泉神社祭り等のイベントを行い、観光客誘致と地域活性化。妙見・安楽地区の情報発信を行う。今年度は藤まつり・湯めぐり道スタンプラリー事業等により観光客の増加も予想されるため、それに伴った宣伝活動を行う。また、街頭や屋外にある看板等を整備、清掃する等の美化活動も行う。</p>		事業費	0	0	0	0		
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	
		一般財源	千円	153	158	158	142	
		事業費	千円	153	158	158	142	142

5. 平成31年度の実績及び成果	
(1) 平成31年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成31年度の実績(取組)による成果を記載>
<p>【安楽温泉振興会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温泉神社祭り ・遊歩道の整備 ・アユ祭り ・スタンプラリー <p>【妙見温泉振興会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日本温泉地域学会」の研究発表会に参加(2回) ・妙見温泉ねこ写真展 ・九州オルレ霧島妙見コース管理 ・いざ霧島キャンペーン実行委員会参画 <p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・藤まつりの開催協力 ・九州オルレフェア「霧島・妙見コース」協力 ・龍馬ハネムーンウォーク共催(中止) 	<p>「日本温泉地域学会」の研究発表会に参加し、霧島市はもとより鹿児島県の広報宣伝活動を実施した。また、妙見地区では第2回となる「ねこ写真展」を2/1~2/29の間に実施し、各施設に更なる癒しを加えた。団体の規模は小さいが、会員同士の連携を図り一つ一つのイベントに取り組んだ。</p>

事務事業 番号	02160	事務 事業名	妙見・安楽地区観光客誘致活動支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光PR課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A 妙見・安楽温泉振興会は、来訪者をもてなす受け皿として、観光関連従事者の資質向上や観光施設の整備等を行い、受入環境を整備する必要があるため、継続して事業を実施する必要がある。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充			
		維持		レ	
		縮小			
	休廃止（統合含む）				
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 令和2年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	近年、両団体の会員数は減少傾向にあり、とくに安楽温泉振興会はH31年度末日で4施設となっている。今後も会員数が増える見込みはないため、会員各施設が安定した運営を行えるよう一体となって取り組む。				
(3) 令和3年度の方向性 (具体的な取組)	観光協会やいざ霧島キャンペーン実行委員会、各旅館協会等との連携を強化し、市一体となった取組を展開する。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充	
		維持	
		縮小	
	休廃止（統合含む）		
		皆減	縮小 維持 拡大
		コスト投入（予算）の方向性	
(2) 総評			

1. 基本情報						
事務事業番号	02161	事務事業名	霧島温泉旅館協会運営支援事業		担当部	商工観光部
政策名	001	にぎわい(産業の活力があふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)			担当課	観光PR課
施策名	004	地域特性を生かした観光の推進			グループ	観光振興グループ
基本事業名	002	観光素材の創出と活用			内線番号	2612
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	07	商工費		単年度繰返(開始年度 ~)	
	項	01	商工費		期間限定複数年度(~)	
	目	04	観光費		根拠法令・条例等	
評価区分		標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 霧島温泉旅館協会とは、牧園・丸尾地区の宿泊施設を会員として運営されている団体で、会員の相互扶助の精神に基づき、国内外でのセールス・宣伝事業、情報発信事業、イベントへの参加などを一体となって実施して誘客に努め、霧島温泉郷の発展と霧島市の観光行政に寄与する目的で設立されている。
 (市の活動)
 霧島温泉地区を訪れた観光客の受入のため、夏の観光宣伝、霧島国際音楽祭にあわせロビーコンサートの実施など霧島温泉旅館協会が行っている事業に対し入湯税の還元として補助金を支出している。
 (団体の活動)
 霧島温泉地区に誘客を行うために各種宣伝活動(九面太鼓演奏、チラシ配布等)、イベント活動(きりしま郷土芸能の夕べ等)を実施した。

活動指標(事務事業の活動量)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(見込)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)
ア 誘客対策事業(自主事業等)の実施回数	回	16	14	10	14
イ 誘客対策事業(チラシ等作成)の実施回数	回	2	2	0	2
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(見込)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)
ア 霧島市を訪れた観光客数	観光客数	人	7,606,885	7,797,200	7,489,312	7,875,200
イ						
ウ						

意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(目標)	令和2年度(目標)	令和3年度(目標)
ア 霧島を観光してもらおう	事業の実施件数	件	20	30	10	15
イ						
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)
 本市の特性である海拔0メートルから1,700メートルにわたる海、山などの恵まれた大自然の魅力を生かし、着地型(体験型)の観光メニューや観光ルートの構築、地域の食材にこだわったご当地メニューの開発や提供など「五感に響く、魅力ある、選ばれる観光地づくり」を推進します。
 また、ガイドクラブなどの活動支援や観光素材の魅力を高める取組を進めるとともに、周遊観光の促進を図るため、広域観光ルートの開発や素材の活用を推進します。

3. 前年度の評価表に記載した課題

平成31年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)
 観光協会やいざ霧島キャンペーン実行委員会、各旅館協会等との連携を強化し、より効果的な観光宣伝活動を行う。

4. 事業費の推移

事業費	単位	30年度	31年度		2年度	3年度
		決算	当初予算	決算	当初予算	計画
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
県支出金	千円	0	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	1,434	1,391	1,391	1,333	1,333
事業費	千円	1,434	1,391	1,391	1,333	1,333

5. 平成31年度の実績及び成果

(1) 平成31年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成31年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<ul style="list-style-type: none"> 先進地(福島県いわき市)への研修視察、現地温泉組合との意見交換会の開催 丸尾地区案内看板の修繕 「いいふるの日」キャンペーン(牛乳石鹸とのタイアップ) 霧島国際音楽祭レセプションパーティーへの協力...バラ600本、オーダブル・デザート等の提供 きりしま郷土芸能の夕べ...4回/766名(6回開催予定であったが台風及び新型コロナウイルスにより2回中止) 福岡市営地下鉄駅構内への広告ポスター掲出 市内夏祭り等への抽選会景品(宿泊券)の提供...5箇所 インスタグラムによる情報発信 	国内外から集客効果の高い霧島国際音楽祭のレセプションパーティーにおいて観光客へのおもてなしを行い、丸尾地区のイメージアップに繋がった。その他、郷土芸能の夕べの開催や、各地域での夏祭り等での賞品として宿泊券などの提供などを行い、霧島温泉郷の賑わいに繋がった。福島県への研修視察では、先進地ならではの取組や活動に刺激を受け、地元関係者との活発な意見交換がなされたことで意欲向上に繋がった。また、老朽化して掲載情報も古かった丸尾バス停付近の案内看板の全面修繕を行い、バス利用者だけでなく、近隣を散歩する観光客、地元住民からも大変好評を得た。

事務事業 番号	02161	事務 事業名	霧島温泉旅館協会運営支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光PR課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		総合評価
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A
		理由
		本市の観光の中心地である牧園丸尾地区の活性化に必要不可欠である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充			
		維持		レ	
		縮小			
	休廃止（統合含む）				
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 令和2年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	引き続き、霧島市観光協会やいざ霧島キャンペーン実行委員会と連携しながら、他地区旅館協会等のモデルとなるような先進的な取組を行うことが必要である。				
(3) 令和3年度の方向性 (具体的な取組)	市とも情報共有を密にしながら、より丸尾地区の活性化とイメージアップに努め、誘客に繋げる。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者		職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充			
		維持			
		縮小			
	休廃止（統合含む）				
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 総評					

1. 基本情報							
事務事業番号	02162	事務事業名	霧島神宮温泉郷旅館協会運営支援事業		担当部	商工観光部	
政策名	001	にぎわい(産業の活力があふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)			担当課	観光PR課	
施策名	004	地域特性を生かした観光の推進			担当課長	寶徳 太	
基本事業名	002	観光素材の創出と活用			グループ	観光振興グループ	
					内線番号	2612	
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ		
	款	07	商工費		単年度繰返(開始年度	~)	
	項	01	商工費		期間限定複数年度(~)	
	目	04	観光費		根拠法令・条等		
評価区分		標準評価	評価対象	1次評価	関連計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 霧島神宮温泉郷旅館協会の運営費補助として補助金を交付している。
 (市の活動)霧島神宮温泉郷旅館協会に補助金を支出するための手続き(申請書の受理、交付決定、実績報告、補助金交付)を行う。
 (各旅館協会の活動)霧島神宮温泉郷地区を訪れた観光客の受入れのための事業を行う。(パンフレット作成、入浴券等) 霧島神宮温泉郷旅館協会は、観光客誘致を目的として設立した団体。霧島神宮周辺の宿泊施設を会員として運営されている団体である。
 (団体の活動)
 霧島神宮温泉地区への誘客を行うため、情報発信やセールス、地域美化活動などを実施して誘客促進とイメージアップに努めている。

活動指標(事務事業の活動量)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(見込)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)
ア 誘客対策事業(自主事業等)の実施回数	回	12	14	5	10
イ 誘客対策事業(チラシ等作成)の実施回数	回	2	1	2	1
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(見込)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)
ア 霧島市を訪れた観光客	観光客数	人	7,606,885	7,797,200	7,489,312	7,875,200
イ						
ウ						

意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(目標)	令和2年度(目標)	令和3年度(目標)
ア 霧島を観光してもらう	事業の実施件数	件	10	14	8	14
イ						
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)
 本市の特性である海拔0メートルから1,700メートルにわたる海、山などの恵まれた大自然の魅力を生かし、着地型(体験型)の観光メニューや観光ルートの構築、地域の食材にこだわったご当地メニューの開発や提供など「五感に響く、魅力ある、選ばれる観光地づくり」を推進します。
 また、ガイドクラブなどの活動支援や観光素材の魅力を高める取組を進めるとともに、周遊観光の促進を図るため、広域観光ルートの開発や素材の活用を推進します。

3. 前年度の評価表に記載した課題

平成31年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)
 霧島市観光協会やいざ霧島キャンペーン実行委員会、各旅館協会等との連携を強化し、より効果的な観光宣伝活動を行う。

4. 事業費の推移

事業費	単位	30年度	31年度		2年度	3年度
		決算	当初予算	決算	当初予算	計画
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
県支出金	千円	0	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	437	468	468	371	371
事業費	千円	437	468	468	371	371

5. 平成31年度の実績及び成果

(1) 平成31年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>
 ・地域交流誌「みちくさ」広告出稿
 ・パンフレット「霧島湯めぐり・味めぐり」、「霧島神水峡マップ」の改訂増刷(各5,000部)
 ・天孫降臨霧島祭への協力、観光宣伝の実施
 ・霧島神宮節分祭への協賛(入浴券提供)

(2) 平成31年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
 九州内で配布される「みちくさ」において、認知度の高い「霧島神宮」を特集したページ中に広告を出稿し、誘客に繋がった。また、天孫降臨霧島祭等のイベントでは運営協力や来場者のおもてなしと同時に観光宣伝を実施し、知名度向上とイメージアップに繋がった。
 また、テレビ等で取り上げられ人気スポットとなった「霧島神水峡」のマップ(裏面は加盟施設の紹介)を改訂増刷し、情報発信を行った。

事務事業 番号	02162	事務 事業名	霧島神宮温泉郷旅館協会運営支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光PR課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効性	成果が向上する余地（可能性）はありますか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		総合評価
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A
		理由 本市で最も訪問者数が多い霧島神宮周辺において活動することは非常に重要である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充			レ
		維持			
		縮小			
		休廃止（統合含む）			
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 令和2年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	霧島神宮温泉郷を盛り上げるという気概を各施設が強く持つことが何より重要である。				
(3) 令和3年度の方向性 (具体的な取組)	著名宿泊施設の参入が見込まれていることから、相乗効果を得られるような宣伝事業を実施していく。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	職・氏名	商工観光部長 谷口 隆幸	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充			レ
		維持			
		縮小			
		休廃止（統合含む）			
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 総評	霧島神宮温泉郷旅館協会は、日頃から市や観光協会とも連携をとっており、定期的に情報交換を行っている。今後は新たな宿泊施設とも連携をとりながら一体となった誘客を行い、観光拠点である霧島神宮が近くにある立地を生かして、当旅館協会の宿泊施設への観光客の誘致につながる事業を実施していく必要がある。				

1. 基本情報						
事務事業番号	02165	事務事業名	外国人観光客誘致促進事業	担当部	商工観光部	
政策名	001	にぎわい(産業の活力があふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)		担当課	観光PR課	
施策名	004	地域特性を生かした観光の推進		担当課長	寶徳 太	
基本事業名	001	国内外の観光客の誘致		グループ	観光振興グループ	
予算科目目	会計 款 項 目	一般会計 07 商工費 01 商工費 04 観光費	事業期間	単年度のみ 単年度繰返(開始年度 ~) 期間限定複数年度(~)	内線番号	2612
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	根拠法令・条例等	関連計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>						
(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)						
海外誘客と航空機利用促進を図るため、鹿児島県や鹿児島県観光連盟、市内観光関係団体、宿泊施設と連携し、外国人観光客の誘致促進活動を行う。						
【誘客事業】 アジアを中心とした現地セールス、旅行説明の実施						
【受入体制】 ツアー商品等造成のための旅行エージェンツ(旅行会社)との商談会による情報提供、現地視察案内、ツアー企画の協力支援						

活動指標 (事務事業の活動量)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (見込)	令和 2年度 (見込)	令和 3年度 (見込)
ア 海外誘致セールス回数	件	5	6	5	6
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的						
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (見込)	令和 2年度 (見込)	令和 3年度 (見込)
ア 外国人(定期航空路線就航地を主とする)	鹿児島空港国際線定期就航路線	路線	4	4	4	5
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (目標)	令和 2年度 (目標)	令和 3年度 (目標)
ア 霧島市の情報を知る	海外誘致セールス回数	件	6	6	5	6
イ						
ウ						

(3) 総合計画との関係						
基本事業の目的、取組方針(総合計画より)						
日本初の国立公園「霧島」をはじめ、本市特有の歴史や文化、豊富な温泉や食などの多種多様な観光素材、空港や鉄道、高速道路などが整備された、観光地としてのポテンシャルを最大限に生かすため、霧島市観光協会をはじめとする観光関係団体や地域と一体となった誘客活動を更に推進します。						
また、国内外において本市の知名度を向上させるため、「観光地・霧島」のブランドの方向性を明確にするとともに、SNSなど市民による情報発信力の強化など、様々な手法による戦略的な情報発信の取組を推進します。						

3. 前年度の評価表に記載した課題	
平成31年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)	
海外では、霧島市はもとより鹿児島県自体も知名度が低いことから、周辺自治体、観光関係施設など官民一体となった誘客活動を積極的に行う。まずは国別のマーケットニーズや情勢をしっかりと把握するため、県観光課・県観光連盟等と積極的に情報交換を行っていく。	

4. 事業費の推移		単位	30年度 決算	31年度 当初予算	2年度 当初予算	3年度 計画	
事業費 投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	1,417	1,576	1,381	1,298	1,298
事業費		千円	1,417	1,576	1,381	1,298	1,298

5. 平成31年度の実績及び成果	
(1) 平成31年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成31年度の実績(取組)による成果を記載
<ul style="list-style-type: none"> 鹿児島県や鹿児島県観光連盟等と連携した海外セールスの実施・参加(5回:香港、韓国、ベトナム、上海、台湾) 旅行エージェンツとの商談会による情報提供 海外雑誌記者等の現地視察案内・ツアー企画の協力支援 プロガー招聘事業 	鹿児島県や鹿児島県観光連盟等と連携して海外セールスや海外旅行エージェンツとの商談会等を行い、霧島市の魅力を海外に情報発信するなど、霧島市の知名度向上及びPRに努めた。 また、就航初便や国際線チャーター便の歓迎を、鹿児島県及び鹿児島県観光連盟と連携して行った。

事務事業 番号	02165	事務 事業名	外国人観光客誘致促進事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光PR課

6. 振返り <SEE (check)>		
A 目的 妥当性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		総合評価
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A
		理由 外国人観光客の誘致は、国内観光客よりも消費単価が高く、また、市内観光関係者からの要望も多いことから、今後も継続して取り組むべき事業であると考えます。ただ、国や県・県観光連盟等と積極的に情報交換を行い、国別のマーケットニーズや情勢をしっかりと把握していくことが必要である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充			
	維持			レ	
	縮小				
	休廃止（統合含む）				
		皆減	縮小	維持	拡大
コスト投入（予算）の方向性					
(2) 令和2年度の改革改善の内容（取り組むべき課題）	就航路線の運休により外国人観光客の誘致が難しい状況ではあるが、今後の新型コロナウイルスの状況を注視しながら、霧島市はもとより鹿児島県自体も海外での知名度が低いことも踏まえて、国や県、周辺自治体、観光関係施設など官民一体となった外国人観光客の誘致活動を積極的に行う。まずは、国別のマーケットニーズや情勢をしっかりと把握するため、県観光課・県観光連盟等と積極的に情報交換を行っていく。				
(3) 令和3年度の方向性（具体的な取組）	海外マーケティング調査・分析に基づく戦略を基本に、現在、定期路線が就航している国以外にも積極的にセールスを展開し、また他県を訪れた外国人を本市に引き込む施策にも取り組んでいく。				

8. 2次評価結果（担当部長評価）		評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充	
	維持		
	縮小		
	休廃止（統合含む）		
		皆減	縮小 維持 拡大
コスト投入（予算）の方向性			
(2) 総評			

